

2024 年度

理工学部

高大接続型自己推薦

入学試験要項



中央大学
CHUO UNIVERSITY

— 目 次 —

I. 募集学科・要旨・募集人員	1
II. 出願資格	2
II-I. 【学科共通出願資格】	2
II-II. 【学科別出願資格】	2
III. 試験日程	6
IV. 出願手続	6
IV-I. 【学科共通出願書類】	13
IV-II. 【学科別出願書類】	14
V. 選考	21
VI. 合格発表	25
VII. 入学手続	25
VIII. 学費その他の納入金	26
IX. その他	26
X. Q&A	28

— 本入学試験について —

本要項に記載の入学試験は、文部科学省の定める大学入学者選抜実施要項における「総合型選抜」として実施するものです(アドミッション・ポリシーについては、本学Webサイトよりご確認ください)。合否について、1次選考においては主に出願書類(調査書その他の証明資料および志願者記載資料)を中心に、2次選考においては主に筆記試験、面接等の結果を中心に、それぞれ総合的に判定します。

— 個人情報の取扱いについて —

中央大学は、Web出願における登録情報および出願書類に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報について「中央大学個人情報保護規程」、「中央大学個人情報保護方針」に基づき細心の注意を払って取扱い、①入学試験実施(出願処理・選考実施)、②合格発表、③入学手続、④各種統計処理を行うために利用します。

上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

また、本学は、本学が取得する合格者の個人情報の一部について、中央大学学友会、中央大学学員会、中央大学生生活協同組合および中央大学父母連絡会と共同利用します。

— 試験実施に関して —

①試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない場合、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮ください。この場合、原則、追試験の実施や入学検定料の返還等の措置は行いません。

②自然災害や不測の事態により、所定の日程通りに入学試験等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験の延期、試験会場の変更等の対応措置をとることがあります。但し、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。

これらの対応措置を講じる場合は中央大学Webサイト(<https://www.chuo-u.ac.jp/>)もしくは受験ポータルサイト「UCARO」(ウカロ)上にてお知らせします。

— 受験上の配慮について —

身体の障がい等により、受験および就学の際に特別な配慮が必要な場合は、出願を希望する入学試験の出願期間最終日の4週間前までに、入試課までご連絡ください。

I. 募集学科・要旨・募集人員

本入試制度は自由応募制です。他の入試制度や本学他学部、他大学との併願を認めています。

志望学科は1学科に限ります。選考の結果、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

募集学科	要旨	募集人員
数学科	数学に興味と関心を抱き、数学科での勉学を活かして将来社会へ貢献したいと希望している、個性豊かな方が本学数学科で学べるように、基礎学力、学習意欲、創造力に基準を置いた選考を行います。	10名
物理学科	物理に興味をもち、物理の考え方を応用して社会に貢献したいと希望している、個性豊かな方に本学物理学科に進学して欲しいと考えています。大学での勉強と研究は高等学校での学びを基礎としたものです。在籍(出身)高等学校の教員1名をメンター(助言者)とし、そのアドバイスの下、探究課題レポートを作成して応募してもらう、高大接続型入試を行います。1次選考の探究課題レポートでは「思考力・判断力・表現力」の評価項目である「問題解決力」と「創造力」を基準においた選考を行います。2次選考での筆記試験では「知識・技能」の評価項目である「知識獲得力」と「専門性」を、また、レポート発表では「主体性・協働性」の評価項目である「自己実現力」と「コミュニケーション力」を基準においた選考を行います。	6名
都市環境学科	都市およびその環境を構成する大気、水、地盤等の自然環境システム、道路、鉄道、橋梁等の社会基盤システム、あるいは制度や組織等の人間社会システムに興味と関心を抱き、将来、都市環境学科で学んだ知識を活かして、社会に貢献したいと希望している個性豊かな方の基礎学力、学習意欲、創造力、行動力等を適切に判定できるように選考を行います。	3名
精密機械工学科	精密機械工学に興味と関心を抱き、将来は精密機械工学に関して学んだ知識や経験を活かして社会に貢献したいと希望する、創造性の豊かな諸君が本学精密機械工学科で学べるように、基礎学力、学習意欲、創造力、表現力に基準を置いた選考を行います。	5名
電気電子情報通信工学科	将来本学電気電子情報通信工学科での勉学を生かして社会に貢献したいと希望する者に対し、主体性、洞察力、知識獲得力を基準とした選考を行います。	5名
応用化学科	応用化学の分野に興味と関心を持ち、意欲と探究心を持って学業に励み、本学科で学んだことを活かして将来社会に貢献したいと希望する方に対し、基礎学力、創造性、知的好奇心、学習意欲といった点に基準を置いた選考を行います。	2名
ビジネスデータサイエンス学科	企業や組織のデータサイエンス分野に興味と関心を持ち、意欲と探究心を持って学業に励み、本学科で学んだことを活かして将来社会に貢献したいと希望する方に対し、基礎学力、創造力、知的好奇心、学習意欲といった点に基準を置いた選考を行います。	2名
情報工学科	情報工学科は、情報分野の幅広い業種にわたりミドル〜トップマネジメントの担い手となるため、専門性と共に広範な基礎知識を身に付け、夢の実現に向けて学び挑戦し続ける心と、研究活動や学会での研究発表等を通じて培われるコミュニケーション力を備え、集団および社会における自らの役割を常に意識し、正しい倫理観をもって行動できる知性的な人材の育成を目指し、これらの資質を有する学生の候補者を積極的に募集します。具体的には、高等学校等において知識・技能の確実な習得を促すべく、数学の自筆ノートの提出を通じておもに「知識獲得力」および「専門性」を確認し、高等学校等において知識・技能の確実な習得を基にした思考力、判断力、表現力を培うことを促すべく、筆記試験および面接を通じておもに「問題解決力」および「創造力」を確認し、さらに高等学校等において主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を培うことを促すべく、アクティブ・ラーニングの実績を通じておもに「コミュニケーション力」「組織的行動能力」「自己実現力」「多様性創発力」を確認します。このようにして受験者自身が自らアピールした内容に基づき、総合的に合否判定します。	1名

人間総合 理工学科	人間総合理工学科では、地球環境と人間の生活の質を持続的に維持・向上するという目標に向け、より複雑化し多様化する社会の課題に挑戦・貢献できる複眼的思考力を持った理工系人材の育成を目指しています。そこで、学問分野にとらわれない幅広い理工学における旺盛な学習意欲を持つ、個性豊かな学生を募集します。人間総合理工学科の高大接続型自己推薦入学試験では、学部・学科の理念や教育内容をよく理解し、本学科への入学を強く志し、高レベルでの自己実現を図ろうとする情熱と明確な志望を持った方を積極的に受け入れます。国内の学生に限らず、海外帰国生・国際バカロレア資格取得者等の応募も積極的に考慮します。人間総合理工学科における単位修得に必要な基盤となる学力を出願書類等により確認したうえで、本学科が目指す人物像に鑑み、受験者自身が自らアピールした書類・提出資料、およびプレゼンテーションの内容に基づいて総合的に合否判定します。	8名
--------------	---	----

※生命科学科の募集はありません。

II. 出願資格

以下のII-I.【学科共通出願資格】と出願学科に必要な要件であるII-II.【学科別出願資格】の両方に該当する者であること。

II-I. 【学科共通出願資格】

2024年3月31日までに、以下①～⑫のいずれかに該当する者(見込み含む)。

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- ②特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者。
- ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(注1)。
- ④外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(注1)。
- ⑤外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者。
- ⑥文部科学大臣が外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(注1)。
- ⑦高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者。
- ⑧文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者。
- ⑨国際的な評価団体(WASC、CIS(ECIS)、ACSI、NEASC)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者。
- ⑩外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者。
- ⑪高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者(注2)。
- ⑫本学の個別入学資格審査において認められた18歳以上の者。

※⑩～⑫については学科別に取扱いが異なります。2023年8月17日(木)までに入試課(問い合わせフォーム:

<https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)へお問い合わせください。なお、審査結果の通知には10日ほど日数を要しますので、時間に余裕を持って手続を行ってください。

注1:12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要があります。

注2:2023年度第1回までの実施試験を対象とします。

II-II. 【学科別出願資格】(P.28～35「X.Q&A」参照)

海外の高校を卒業した者(見込みの者を含む)で学習成績による出願を希望する場合は、出願前審査が必要です。

2023年8月17日(木)までに入試課(問い合わせフォーム: <https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)へお問い合わせください。

数学科

本学で数学を学習するための基礎学力(数学Ⅲまでの基礎知識)を持ち、さらに以下(1)～(6)のいずれかに該当し、数学に関する学習意欲、創造力をアピールできる者。

(1)高等学校の数学で抜群の成績を修めている者。

例えば、卒業見込みの者は最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による「数学」の学習成績の状況が4.7以上の者。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)中学校・高等学校在学中に、数学に関する活動で成果をあげた者。

例えば、数学に関して、雑誌に投稿したり、解答を送って採用される等。

(3)科目等履修生として本学理工学部数学科で単位を取得した者。

付記:本学理工学部数学科科目等履修生として取得した単位は、本学科に入学した場合、本学の卒業単位として申請することができます。

(4)日本数学オリンピック予選AランクまたはBランク。

(5)日本情報オリンピック予選AランクまたはBランク。

(6)情報処理やコンピュータに関して少なくとも1つ資格を有する者。

物理学科

メンター(助言者)として、在籍(出身)高等学校の教員(理科または数学の教員とする。物理担当教員が望ましい)1名を指定し、そのアドバイスの下、本学物理学科のWebサイト(<https://www.phys.chuo-u.ac.jp/admission/>)に掲載された探求課題の中の1テーマについて研究した者で、以下に該当する者。

卒業見込みの者は最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの、それぞれ5段階方式による学習成績の状況について、「英語」、「数学」、「物理」3科目の学習成績の状況の平均が4.0以上の者。

※但し、英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、理科は「物理基礎」、「物理」を履修していることが望ましい(旧教育課程履修者は、英語は「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B(数列、ベクトル)」、「数学C(行列と応用、式と曲線)」、理科は「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」を履修していることが望ましい)。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

都市環境学科

以下(1)～(3)の全てに該当する者。

(1)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が3.8以上の者。

※但し、英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、理科は「物理基礎」、「物理」を履修していることが望ましく、合否判定にあたっては履修の有無を考慮することもあります(旧教育課程履修者は、英語は「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B(数列、ベクトル)」、「数学C(行列と応用、式と曲線)」、理科は「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」を履修していることが望ましく、合否判定にあたっては履修の有無を考慮することもあります)。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)本学で都市環境学を学習するための学習意欲、創造力をアピールするものを持っている者。例えば、以下のいずれかに該当する者。

①社会基盤のソフト・ハードの整備を通じて、社会への貢献を自己の目標と確信する者。

②地域や地球全体の環境保全・環境修復・環境創造に携わりたいと望んでいる者。

③地震・台風・豪雨災害等に対する防災を通して社会に貢献したいと希望する者。

④生徒会活動等を通じて、公共の意思決定に興味を持ち、かつ工学的にそのような問題にアプローチすることに意欲のある者。

(3)基礎学力あるいはデザイン能力等に近い分野で、特別な能力を有する者。例えば、以下のようなことが考えられるが、これに限らず能力を活かせそうな分野は、幅広く自己推薦の対象になりうる。

- ①情報処理やコンピュータに関して少なくとも1つ資格を有する者。
- ②工業デザインや造形等の創作経験があり、作品の受賞歴を有する者。
- ③コンピュータソフト等の創作実績があり、作品の独創性を証明しうる者。
- ④地域社会への貢献活動に自発的に参加し、その成果についての業績を有する者。
- ⑤災害支援・防災活動等に自発的に参加し、その成果についての実績を有する者。

精密機械工学科

以下の(1)に該当し、(2)または(3)のいずれかに該当する者。

(1)本学で精密機械工学を学習するための学習意欲、創造性をアピールするものを持っている者。例えば、以下①～④に該当する経験に基づいていることが望ましい。

- ①各種科学賞(例えば、日本学生科学賞)や全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度に応募し成果を挙げた者(入賞や予選通過等の場合はそのことがわかる資料を提出すること。また、団体で参加した場合は出願者の役割を出願書類に記載すること)。
- ②各種ものづくりコンテスト(例えば、高校生ものづくりコンテスト、若年者ものづくり競技大会)に参加し成果を挙げた者(入賞や予選通過等の場合はそのことがわかる資料を提出すること。また、団体で参加した場合は出願者の役割を出願書類に記載すること)。
- ③各種ロボットコンテスト(例えば、全国高等学校ロボット競技大会(県大会含む)等)に参加し成果を挙げた者(入賞や予選通過等の場合はそのことがわかる資料を提出すること。また、団体で参加した場合は出願者の役割を出願書類に記載すること)。
- ④技能五輪(例えば、技能五輪全国大会等)への参加経験がある者。

(2)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が3.8以上、「数学」と「物理」のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上の者。数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、物理は「物理基礎」の履修を必須とする。なお、数学には「数学Ⅲ」、物理には「物理」が含まれていることが望ましい(旧教育課程履修者は、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」、物理は「物理Ⅰ」の履修を必須とし、数学には「数学Ⅲ」と「数学C」、物理には「物理Ⅱ」が含まれていることが望ましい)。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(3)以下①および②の両方に該当する者(※本項は海外帰国生等を想定した条件です)。

- ①日本国籍を有する者、または「出入国管理及び難民認定法」(入管法)による「永住者」の在留資格を有する者もしくは「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」(入管特例法)による「特別永住者」。
- ②自己の意思に基づき、または保護者の海外勤務に伴い、海外に居住し、現地の高等学校等で正規の教育課程(10学年以上に相当する課程)に基づく教育を2暦年または2学年以上継続して受けた者。

電気電子情報通信工学科

以下(1)および(2)の両方に該当する者。

(1)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による学習成績の状況が「数学」・「理科」共に4.0以上の者。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)電気電子情報通信分野において主体的に活躍した実績、または今後主体的に活躍するために有用と考える優れた能力をアピールできる者。それらを客観的に証明できる資格の取得やコンテストでの成績等の書類があれば好ましいが、必須ではない。

応用化学科

以下(1)および(2)の両方に該当する者。

(1)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が4.0以上の者。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)本学で応用化学を学ぶための基礎学力、探究心、創造性をアピールできる者。例えば、以下のいずれかに該当する者またはそれと同等と認められる者。

①化学グランプリ等に出場している者(受験票のコピー等。また、入賞している場合はその予選通過等の資料も提出可能)。

②化学に関する活動で成果をあげた者。例えば、日本化学会等が主催・共催する学会・発表会で化学に関する研究成果を発表した者(発表要旨やプログラム等の資料を提出すること)。

③化学に関連した研究や調査の結果に対して公的な表彰を受けたことがある者。

ビジネスデータサイエンス学科

以下(1)および(2)の両方に該当する者。

(1)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が4.0以上の者。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)本学でビジネスデータサイエンスを学ぶための基礎学力、創造力、知的好奇心、学習意欲をアピールできる者。例えば、以下のいずれかに該当する者またはそれと同等と認められる者。

①全国的または国際的な規模のコンテスト(日本数学オリンピックや日本情報オリンピック等)に出場している者(予選時のスコアがわかる資料等を提出すること)。

②情報や数学に関する資格(数学検定や統計検定等)を有する者(合格証もしくはスコアがわかる資料を提出すること)。

③コンピュータソフトウェアの創作コンクール等に応募し成果を挙げている者(入賞や予選通過等の場合はそのことがわかる資料を提出すること)。

④経営やビジネス創造に関するコンクール等に応募し成果を挙げている者(入賞や予選通過等の場合はそのことがわかる資料を提出すること)。

情報工学科

以下(1)および(2)の両方に該当する者。

(1)卒業見込みの者は最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が4.0以上の者。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

(2)コミュニケーション力が「相手の意見をひとつと理解し、相手に自身の意見をひとつと伝えられる」水準に達していること、組織的行動能力が「指示されると作業できる。目標を達成するため自ら動ければ、なお良い」水準に達していること、自己実現力が「自ら明確な目標を定め、その実現のために道筋を考え努力する。その際、自己管理を怠らない」水準に達していること、および多様性創発力が「多様性(文化、習慣、価値観等)を意識し、理解しようとしている」水準に達していることのエビデンスとなり得る何らかのアクティブ・ラーニングの実績をアピールできる者(以下①～③は例)。

①全国的または国際的な規模の科学に関するコンテスト(日本・国際情報オリンピックや日本・国際数学オリンピック等)において、優秀な成績を修めた者。

②単独またはチームとして科学技術分野の秀逸な作品(自作のソフトウェアやハードウェア、理数分野の優れた自由課題の成果物)を自力で創作した者。

③海外において何らかの活動経験を有し、コミュニケーション力、組織的行動能力、自己実現力、多様性創発力との関連性を自ら明確に述べるができる者。

人間総合理工学科

以下(1)および(2)の両方に該当する者。海外帰国生については、以下の(1)および(2)の両方に該当するとみなせる者。

(1)卒業見込みの者は、最終学年1学期(2学期制の場合は前期)まで、卒業した者は最終学期までの5段階方式による全体の学習成績の状況が4.0以上の者。

※但し、英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、理科は物理(「物理基礎」および「物理」)、化学(「化学基礎」および「化学」)、生物(「生物基礎」および「生物」)のいずれかを履修していることが望ましい(旧教育課程履修者は、英語は「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B(数列、ベクトル)」、「数学C(行列と応用、式と曲線)」、理科は物理、化学、生物のいずれかで「Ⅰ」、「Ⅱ」を履修していることが望ましい)。

※P.13『調査書提出の留意点』参照

※海外帰国生等、高等学校在学中の学習成績の状況が提出できない場合は、出願前に入試課まで問い合わせること。

問い合わせフォーム: <https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>

(2)本学で人間総合理工学を学ぶための基礎学力を有し、本学科所属研究室の少なくとも2つ以上に深い興味を持つ者。本学科での学びに有用と考えられる探求心、創造性、コミュニケーション能力等において、自らの能力の高さを強くアピールできる者。それらを客観的に証明できる資格の取得やコンテストでの成績等の書類があれば提出することが好ましいが、必須ではない。

Ⅲ.試験日程

試験日程は以下のとおりです。選考は、2段階選考となります。

1次選考=出願書類に基づく書類選考です。2次選考=試験会場において実施します。

※選考の詳細は、P.21～24を確認してください。

出願期間(締切日消印有効)	2023年9月14日(木) 10:00～9月21日(木)
1次選考合格発表日時	2023年10月20日(金) 11:00～
受験票取得開始日時	2023年10月20日(金) 11:00～
2次選考試験日	2023年11月11日(土)
合格発表日時	2023年11月17日(金) 11:00～
入学手続期間	2023年11月17日(金)～11月27日(月)

Ⅳ.出願手続

出願にあたっての注意事項

- (1)出願は、3つのステップ(1.Web出願登録→2.入学検定料の支払い→3.出願書類の送付)を出願期間内(締切日消印有効)に全て完了することで成立します。出願期間終了後の出願は一切受け付けません。
- (2)「1.Web出願登録」や「2.入学検定料の支払い」だけでは、出願は成立しません。必ず、出願期間内(締切日消印有効)に出願書類を郵送してください。
- (3)「1.Web出願登録」には受験ポータルサイト「UCARO」(ウカロ)への会員登録(無料)が必須です。
- (4)「1.Web出願登録」や「2.入学検定料の支払い」を行う前に、「3.出願書類の送付」を行わないでください。
「1.Web出願登録」や「2.入学検定料の支払い」を行う前に送付した出願書類は、無効になる場合があります。
- (5)出願書類に不備・不足がある場合、出願は受け付けません。書類については本人または証明書等の発行元に問い合わせることがありますが、連絡がつかない場合、本学は関知しません。
- (6)「2.入学検定料の支払い」後は、出願内容は一切変更できません。電話番号等の本人情報が変更になった場合は、必ず入試課(問い合わせフォーム: <https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)へ連絡してください。転居等の場合は、郵便局での転居・転送サービスの手続を行ってください(本学への連絡は不要です)。住所等の誤入力に関して本学は関知しませんのでご注意ください。
- (7)提出された出願書類は、出願資格の有無に関わらず、いかなる理由があっても返却しません。

事前準備

(1) 出願書類の準備

出願にあたって提出(郵送)が必要な書類は、P.12～18で確認してください。

特に、高等学校や教育機関から発行される証明書や、各検定試験実施機関から発行される証明書は、発行に時間がかかりますので、十分余裕をもって、発行の手続を行ってください。出願書類のうち、本学所定用紙については、本学Webサイト(<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/admission/special/guide/>)よりダウンロードし、A4・白紙に印刷のうえ、必要事項をきれいに記入してください。

(2) 出願写真の準備

Web出願には、デジタル写真(ファイル形式：JPEG 推奨サイズ：640×480ピクセル)が必要です。

<出願写真について>

以下の条件を満たすデジタル写真を用意してください。

- ① 出願前3か月以内に撮影した本人のみが写ったカラー写真
- ② 上半身、正面(焦点が合っているもの)、髪で目や輪郭が隠れていないもの、背景が無いもの、無帽のもの。

※詳細は右のイラストを確認してください。

※制服、私服は問いません。

※出願写真は入学試験当日の受験者の本人確認に使用します。

また、入学後は学生証等に使用します(入学手続を行った入学試験の出願写真を使用します。なお、**在学中の写真の変更はできません**)。

※受験時に眼鏡をかける場合は眼鏡をかけて撮影してください。眼鏡のレンズは無色透明に限ります。

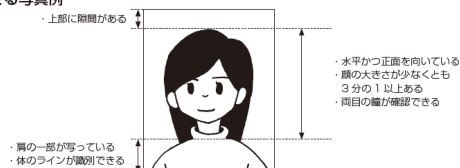
※**証明写真等、プリントアウトした写真を撮影したものは使用しないでください。**

※画像に加工を施したものは認めません。

※顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができますので、顔がはっきり映るよう調整してください。

※出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出になることがあります。**期限内に再提出を行わない場合、出願は受け付けません。**

○受付できる写真例

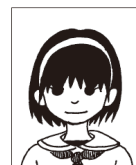


×受付できない写真例

- ・メガネのフレームが目にかかっている
- ・フラッシュでメガネの一部が光っている
- ・背景色と同化して身体との境目が分かりにくい
- ・不鮮明(ぼやけている)
- ・顔の大きさに対して顔が大きすぎる
- ・顔の大きさに対して顔が小さすぎる



髪やスマートフォンの影がかかっている



髪が目にかかっている



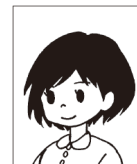
背景があるもの(カーテン、窓、影等が写っている)



マフラーやサングラスを着用している



どちらかの目がかくれている



正面を向いていない

(3) 出願に必要な環境の準備

- ① インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかを準備

学校や図書館等自宅外のパソコンでも差し支えありません。

〈推奨ブラウザとバージョン〉

〔Windows〕 Microsoft Edge 最新バージョン/Chrome 最新バージョン/Firefox 最新バージョン

〔Mac OS〕 Safari 9.0 以上

〔スマートフォン〕 iOS 15/Android 12

- ② プリンタの準備

出願書類郵送用の「宛名ラベル」を印刷するため、プリンタが必要です。

- ③ メールの設定

Web出願の際、UCAROに登録したメールアドレスを使用します。登録したメールアドレス宛に、Web出願登録時や入学検定料支払い時の自動送信メールの他、大学からの重要なお知らせが届く場合がありますので、2024年3月末まで使用可能な、日常的に確認できるメールアドレスを登録してください。

※ドメイン指定受信設定等メール受信を制限している場合は、必ず「@ucaro.jp」、「@g.chuo-u.ac.jp」および「@chuo-admissions.zendesk.com」からのメールが受信できるよう、予め設定しておいてください。当該設定がされていないことにより、志願者が不利益を被った場合、本学は一切関知しません。

(4)UCAROへ会員登録<必須>

出願には、受験ポータルサイト「UCARO」(ウカロ)への会員登録(無料)が必要です。

「UCARO」トップページ(<https://www.ucaro.net/> (右記QRコード))にスマートフォンまたはパソコンからアクセスし、「新規会員登録」のページから会員登録を行ってください。会員登録にはメールアドレスが必要です。



「学校一覧」より中央大学を「お気に入り登録」することで、中央大学からのお知らせが届くようになります。お知らせには、入学試験に関するお知らせの他、本学主催のイベントその他の告知が含まれます。また、試験合格後、本学から入学手続等に関する重要なお知らせを通知する場合があります。**メールアドレスは、必ず2024年3月末まで使用可能なものを登録してください。**

※既に「UCARO」へ会員登録した方は再度会員登録を行う必要はありません。

※「UCARO」への会員登録は出願期間より前に行うことができます。なるべく早めに会員登録を行ってください。

※会員登録と併せて、アカウント情報(住所等)を登録しておくこと、Web出願登録時に個人情報の入力の手間を省くことができます。

1.Web出願登録

①Web出願サイトへアクセス

Web出願登録は、出願期間初日の10:00より可能です。

出願期間内にスマートフォンまたはパソコンから「UCARO」にログインし、学校一覧の「出願する」から本学のWeb出願サイトにアクセスしてください。

※本学Webサイト(<https://www.chuo-u.ac.jp/connect/admission/special/>)よりWeb出願サイトにアクセスすることも可能です。本学WebサイトからWeb出願サイトにアクセスし、出願登録を行う場合は「UCARO」のアカウント認証が必要です。

②Web出願登録

はじめに、Web出願サイトトップ画面の「出願の流れ(このサイトの使い方)」を必ずよく読んでください。

入力画面に沿って、間違いのないよう登録してください。

※**入学検定料の納入後は、一切出願の内容を変更することができません。**

STEP1 志望情報入力

出願する試験方式・学部・学科等を選択してください。

STEP2 個人情報入力

氏名、生年月日、住所、連絡先等を入力してください。

※登録した情報に誤りがあると、出願が受け付けられない場合があります。

※JISコード第一・第二水準以外の文字(例:高、崎)は、入力できません。代替文字を入力してください。

住民票記載の文字への変更を希望する場合は、入学後14日以内に学部事務室窓口までご来室ください。なお、文字によってはシステムの都合上対応できない場合もありますので予めご了承ください。

STEP3 出願内容確認

出願内容の確認を必ず行ってください。登録内容に誤りがある場合は、「変更」ボタンから内容の修正を行ってください。

※入学検定料の納入後は、一切出願内容の変更をすることができませんので、入力内容に誤りがないか、十分に確認してください。

STEP4 出願写真のアップロード

出願写真のデータを、画面の案内に従ってアップロードしてください(この画面上で、出願写真のサイズ調整が可能です)。

※出願写真の要件については、P.7「(2)出願写真の準備」を参照してください。

STEP5 出願登録完了

STEP1～STEP4が完了したら、出願登録完了画面に遷移します。

Web出願登録完了画面には、**出願番号(受験番号ではありません)**が表示されます。

※Web出願登録が完了すると、登録したメールアドレスに出願登録完了通知メール、入金案内メール、書類送付案内メールが届きます。

STEP6 決済方法の選択

支払方法は、「クレジットカード決済」「コンビニエンスストアでの支払い(日本国内のみ)」「金融機関ATM[Pay-easy]/ネットバンキング(日本国内のみ)」から選択できます。Web出願登録完了画面から決済方法を選択し、決済サイトに進んでください。詳細は、以下の「2.入学検定料の支払い」を確認してください。

※**入学検定料の納入後は、一切出願内容を変更することができません。**入学検定料の支払いを行う前に、出願内容に誤りがないか慎重に確認してください。

2.入学検定料の支払い**(1)金額**

入学検定料	35,000円
--------------	----------------

※上記の他、1回の出願ごとに支払手数料(1,150円)が別途発生します。

(2)支払方法

入学検定料は、以下の方法で支払うことができます。

支払方法/取扱金融機関	支払金額上限	支払期限	その他
クレジットカード ・VISA ・Mastercard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・Diners Club Card	所持しているカードやご利用額によって異なるため、カード会社にご確認ください。	出願期間最終日の23:59まで	クレジットカードやインターネットバンキングは、志願者本人の名義でなくても構いません。
コンビニエンスストア(注1) ・ローソン、ミニストップ ・ファミリーマート ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート ・セブン-イレブン			
金融機関ATM [Pay-easy] (注2) ネットバンキング	所持している銀行口座の種類によって異なるため、銀行にご確認ください。		

注1:コンビニエンスストアからの支払いは、日本国内に限ります。

注2:対象金融機関(日本国内に限ります)は以下のサイトで確認してください。

<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list/>

(3)入学検定料の支払いに関する注意事項

入学検定料の支払いが完了すると、登録したメールアドレスに入学検定料支払完了メールが届きます。

※入学検定料支払完了メールが不着であった場合でも、出願期間後の出願手続は一切認めません。また、一旦支払われた入学検定料は、原則として返還しませんので注意してください。

(4)入学検定料決済確認書の発行

入学検定料の納入後、出願登録完了画面から、「入学検定料決済確認書(Webサイト上で決済が完了したことの書面)」を表示、確認することができます。

本学から入学検定料の領収書の発行は行いませんので、こちらの決済確認書をご利用ください。

入学検定料の返還について

一度納入された入学検定料は、原則として返還しません。但し、次の「返還請求対象」1、2のいずれかに該当し、**2024年1月31日(水)まで(締切日消印有効・厳守)**に、以下の方法で返還申込手続を行った場合のみ、入学検定料を返還します(支払手数料は返還できません)。

<返還請求対象>

1. 入学検定料を納入したが、出願期間内に書類を提出しなかった。
2. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、出願が受理されなかった。

※上記以外の事由による入学検定料の返還は一切行いません。

※期限後の返還申込手続には一切応じられません。

<返還申込手続>

所定の「返還請求書」(P.11)をA4・白紙に印刷し、必要事項をきれいに記入・捺印のうえ、市販の封筒(サイズ指定はありません)を使い、以下の送付先に簡易書留で郵送してください。

送付先

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
中央大学入学センター事務部入試課 入学検定料返還係

<注意事項>

1. 提出された書類は、入学検定料返還の可否に関わらず返却しません。
2. 処理の都合上、返還請求書の提出から、入学検定料の返還まで2、3か月程度を要しますので予めご了承ください。
3. 原則、日本国内の銀行口座への返金とします。日本国内口座を開設していない場合のみ、海外送金による返金を認めますので、入試課(問い合わせフォーム:<https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)までお問い合わせください(海外送金に係る手数料は志願者負担とします)。なお、送金通貨は全て日本円(JPY)となります。
4. 振込日に関する個別のお知らせは行いませんので、ご自身で振込先口座の入金状況をご確認ください。

※中央大学は、本書にご記入いただいた個人情報を、納入金の返還およびこれに付随する業務のためにのみ利用いたします。

下線部・枠内をもれなく黒ボールペン(消えるボールペン不可)で記入してください。

返 還 請 求 書

【2024年度特別入試】

_____年 _____月 _____日

中 央 大 学 御 中

〒 _____ 住所 _____

金 _____-円也 銀行口座名義人 _____ ⑨ TEL. _____ (_____)

※支払手数料(1回の出願につき¥1,150)は返還対象外です。入学検定料の金額のみ記入してください。
※記入された金額が対象金額と異なる場合は、本学にて訂正させていただきます。
※記載内容に不備があった場合、電話あるいはUCAROに登録したメールアドレスへ問い合わせることがあります。

以下の理由により返還を請求します。

なお、返還金については以下預金口座へ振込んでください。

志願者氏名 _____ 保護者氏名 _____

入試名	高大接続型 自己推薦入学試験	出願学部 学科	理工学部 学科	出願 番号	
理由 ※該当する番号 に○をつけて ください。	1. 入学検定料を納入したが、出願期間内に書類を提出しなかった。 2. 入学検定料を納入し、必要書類を提出したが、出願が受理されなかった。				

注意

- 太枠内をもれなく記入してください。金融機関および預金の種別は○で囲んでください。
 ゆうちょ銀行を指定する場合は【他金融機関用振込口座番号】と【記号番号】を記入してください。
 「口座名義人」欄について、アルファベット表記の場合、通帳記載のとおりに入力してください。
 口座番号が6桁以下の場合、口座番号の先頭に「0」(ゼロ)を加えて記入してください。
- 口座名義人は志願者本人または、上の「保護者氏名」欄に記載された保護者の口座に限ります。

銀行 信金 [いづれかに○] 農協	支店 (支店コード: _____)	預金種別 [いづれかに○] 普通 当座
(金融機関コード: _____)	【ゆうちょ銀行のみ 記号番号 _____】	
口座番号(右詰めで記入)	口座名義人 カナシメイ (` ° は1マス使用)	
	志願者との続柄 [本人 ・ 保護者]	

2024年度特別入学試験

<国内口座用>

3.出願書類の送付

(1)注意事項

i.全ての出願書類に共通の注意事項

- ①出願に際して提出した書類・記載事項に不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します(合格していた場合には合格を取り消し、入学していた場合には入学を取り消します)。このことによる入学検定料や学費等の返還は一切行いません。
- ②提出した書類は出願の成否に関わらず、一切返却しません。特に証明書(高等学校から発行されたもの、各検定試験実施機関から発行されたもの等)についても、返却しませんので十分注意してください(本学の入学試験に不合格となり、他大学に出願する等の理由での返却希望についても応じられません)。

ii.本学所定用紙に関する注意事項

- ①出願書類のうち、本学所定用紙は本学WebサイトからダウンロードのうえA4・白紙にて印刷してください。
- ②自筆が必要な所定用紙については、志願者本人が黒色のボールペンで記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用しないでください。
- ③楷書またはローマ字活字体(Block Letters)、数字に関しては算用数字を用いてください。
- ④書き損じた場合は、修正テープ(修正液)は使用せず、修正箇所^二に二重線(=)を引き、正しく書き直してください。
- ⑤本学所定用紙は2024年度入試のものを使用してください。過年度のもの等は無効とします。
- ⑥一部学科に関しては、P.28~35「X.Q&A」を参考にしてください。

iii.証明書類に関する注意事項

証明書等は、原則として日本語、英語または中国語で作成されたものとします。日本語、英語または中国語以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文(大使館、公証役場等の公的機関、または民間の翻訳会社で証明を受けたもの)を併せて提出してください。民間の翻訳会社に依頼する場合、訳文には翻訳機関を明記し、翻訳者の署名または捺印を付してください。

(2)出願書類

i.出願にあたっては、P.13~18記載のIV-I.【学科共通出願書類】とIV-II.【学科別出願書類】の書類を取りそろえ、出願期間内に提出してください。

※証明書類について、本学の入学試験に不合格となった場合に、他大学の出願に使用するために返却してほしい旨を本学に申し出ても応じられません。原本が1部しかなく、志願者の手元に残しておかなければならない証明書は提出せず、必ずP.19「証明書類の原本照合について」に記載の原本照合の手続を行った当該証明書のコピーを提出してください。

重要 Web出願における志願者氏名の表記と、出願書類(証明書等)の氏名表記が異なる場合(旧字や略字と常用漢字との差異は差し支えありません)は、同一人であることを証明する公的書類(戸籍抄本等)またはその旨を証明する出身(在籍)高等学校からの書類(調査書等への付記でも構いません)を提出してください。

IV- I. 【学科共通出願書類】

書類	内容
<p>(1)志願者経歴書 (所定用紙No.1) 【全員提出】</p>	<p>本学所定用紙を本学Webサイトより出力のうえ、記入すること。</p>
<p>(2)高等学校等の調査書 (厳封) 【全員提出】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年3月卒業見込みの者は第3学年1学期(2学期制の場合は前期)までの「調査書」(厳封)。 ・ 海外の高等学校を卒業(見込)の者は、「卒業(見込)証明書」および「成績証明書」(10学年以上の成績が記載されたもの)を提出すること。 ・ 卒業するまでに複数の高等学校に在籍した者は、各高等学校の調査書(海外の場合は、成績証明書)を提出すること。但し、最終出身高等学校の調査書に全ての成績(または取得単位)が記載されている場合は当該調査書のみで可。 ・ 卒業から5年以上経過し、調査書の発行ができない場合は、「卒業証明書」を提出すること。 <p>なお、出身(在籍)高校で卒業証明書の発行を行っていない場合は、成績証明書に卒業年月が記載されていれば、卒業証明書の代わりとして受け付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入学資格検定合格者・高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者で、出願資格を認められた者は、卒業証明書・調査書の代わりに「合格(見込)成績証明書」を提出すること(合格に際して免除科目がある場合でも、免除科目に関する証明書の提出は不要です)。 <p>※ 高等学校卒業程度認定試験は2023年度第1回までの実施試験を対象とします。</p> <p>『調査書提出の留意点』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期制で、最終学年前期までの成績を記載できない場合は、高等学校が最終学年の成績も含めて、暫定的に証明しうる直近の成績をもって、最終学年前期までの成績とみなします。その場合、調査書備考欄または別紙(任意書式)にその旨注記をお願いします。 ・ <u>学習指導要領上で同程度の内容を含んでいれば、他の科目の名称でも可とします。</u> <u>その場合、調査書備考欄または別紙(任意書式)にその旨注記をお願いします。</u>

※外国の高等学校や、外部資格試験実施機関等から本学へ証明書等を直接送付する場合は、2023年4月1日から出願期間最終日までに本学に到着したものに限り、2024年度入試の出願書類として受け付けます。

IV- II. 【学科別出願書類】

【学科別出願書類】は、IV- I. 【学科共通出願書類】と併せて提出してください。

数学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1),No.3)

※あなたが数学に関して特に興味を持ち、印象に残っている事柄、数学に関して自己アピールしたい事柄について、まず「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に500字以内(1枚)で詳しく記述してください(横書き)。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、**資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。**

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※ II- II. 【学科別出願資格】に関連する書類がある場合、提出してください。学習成績の状況で出願する場合は、この書類を提出する必要はありません。

物理学科

■探究課題の中から選んだ1テーマに関して「所定用紙No.3」またはA4サイズ用紙に記したレポートを提出してください。またレポートの添付書類として、「所定用紙No.2-(2)」および「所定用紙No.5-(2)」を以下の書き方のとおり作成のうえ提出してください。

《レポートおよび添付書類の書き方》

- ・所定の表紙(「所定用紙No.2-(2)」)に志望学科、在籍・出身学校名、氏名(フリガナ)、生年月日、性別、選んだ探究課題の番号とレポートの題名、およびレポートの要約を記入してください。
- ・メンターである高等学校教員は、在籍(出身)校のメンター(助言者)による所見(所定用紙No.5-(2))に受験生の氏名(フリガナ)と高等学校所属課程学科・コースを記入し、受験生のレポートに関して所見を書いてください。所見としては、「受験生に対して、実験やレポート作成の際にどのようなアドバイスをしたか」、また「それに対する受験生の応答」を記述してください。担当されている科目を記入のうえ、署名捺印をお願いします。
- ・レポート本文については、図やグラフを使うことが望ましいです。図やグラフは本文の適切な位置に記入するか、貼り付けてください。
- ・レポート本文の長さは、2,000～4,000字程度とします。
- ・手書きでも、パソコンを使用しても構いません。パソコン使用の場合は、12ポイント以上の文字で印字してください。パソコンで印字した用紙を「所定用紙No.3」に貼り付けても構いません。
- ・所定の表紙(所定用紙No.2-(2))と本文はクリップを使ってまとめてください。

都市環境学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1),No.3)

あなたが自己アピールしたい事柄について、それによってあなたの人生でどのようにプラスになったかを含めて、まず「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に1,000～1,500字以内(2～3枚)で詳しく記述してください(横書き)。

※記述に際しては、「II- II. 【学科別出願資格】」に留意してください。

■課題レポート(所定用紙No.2-(3),No.3)

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)が開催するオンライン授業のうち、公益社団法人土木学会が提供する「比較自然災害学(水災害編)～多発する多様な自然災害にどう向き合うか～第3章:豪雨編」の4つの動画を全て視聴し、総括的にこれらの1)概要と2)考察を記述したレポートを提出してください。

※レポートの書き方

- ・所定の表紙(「所定用紙No.2-(3)」)に志望学科、在籍・出身学校名、氏名(フリガナ)、生年月日、性別、および1)概要を記入してください。

- ・所定の用紙(「所定用紙No.3」)1枚に、2)考察を記述してください。
- ・表紙と本文はクリップを使ってまとめてください。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■教員による所見(所定用紙No. 5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

<課題レポートで視聴する動画の視聴方法>

理工学部事務室(E-mail:riko-nyushi-grp@g.chuo-u.ac.jp)まで視聴申請をしてください。

申請いただいた方に視聴URLをお送りします。

※申請いただくメールには以下を入力の上送信してください。

- メールタイトル：【2024年度高大接続型自己推薦入試 動画視聴申請】
- メール本文
 - ・氏名
 - ・該当する出願資格番号 (P.2記載のⅡ-Iを確認してください) および卒業もしくは卒業予定の学校名
 - ・連絡用メールアドレス (基本的には、連絡用アドレスより送付してください)

精密機械工学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1),No. 3)

あなたが精密機械工学を学習するための学習意欲、創造性をアピールするものについて、それがあなたの人生でどのようにプラスになったかを含めて、まず「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に500字以内(1枚)で詳しく記述してください(横書き)。「所定用紙No.3」では、精密機械工学に取り組む意欲や適性、能力についてアピールしてください。その際、「Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】」(1)①~④のどれに該当するかを述べ、その内容を説明してください。団体で参加した場合は、出願者の役割を説明してください。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■教員による所見(所定用紙No. 5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

■戸籍抄本またはパスポートの写し(海外帰国生の場合のみ提出)

- ・パスポートについては、「氏名、国籍、パスポート番号、発行年月日」記載部分をA4サイズの用紙にコピーして提出。
- ・日本国の永住権を有する場合は、永住許可・特別永住許可を証明する書類のコピーを提出。

電気電子情報通信工学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1),No.3)

あなたが本学科を志望するに至った理由が明確に分かるように、まず「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に500字以内(1枚)で詳しく記述してください(横書き)。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■事前課題(任意書式)

電気電子情報通信分野において主体的に取り組んで得た実績、または今後主体的に活躍するためにあなたが持っていると考えられる能力や意欲について、具体的な取り組みや経験に基づいて記述してください。用紙はA4サイズで枚数は問いません。また、高校の物理の教科書のうち、電気と磁気に関連する範囲を熟読し、よく理解しておいてください。2次選考では、電気と磁気の知識を活用した演習または実験を行ってもらいます(P.31～32 X.Q&A参照)。

■教員による所見(所定用紙No.5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

応用化学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1)、No.3)

あなたが自己アピールしたい事柄、特に化学に関連した事柄について、まず「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に500字以内(1枚)で詳しく記述してください(横書き)。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■教員による所見(所定用紙No.5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

ビジネスデータサイエンス学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1)、No.3)

ビジネスデータサイエンスに取り組もうとする意欲や適性、能力をアピールしてください。「所定用紙No.2-(1)」に100字以内で要約し、「所定用紙No.3」に500字以内(1枚)で詳しく記述してください(横書き)。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(コピー可)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■事前課題(任意書式)

ビジネスデータサイエンス学科Webサイト内のページ(<https://ds.r.chuo-u.ac.jp/admission2/>)に公開する課題について、記載されている指示や注意に従い、A4サイズの用紙にまとめたもの(事前課題を公開するページへは学科サイトの他のページからのリンクは張られていませんのでご注意ください)。

■教員による所見(所定用紙No. 5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

情報工学科

■自己推薦書(所定用紙No.2-(1)、No.3)として、以下の①～⑤(海外帰国生の場合は①～⑥)を全て提出すること。

- ①情報工学をどのような分野と考えているかについて論述した作文1枚以内(所定用紙No.3の冒頭に「①」と記し、直後の升目から本文開始)
- ②自己アピールしたい事柄(P.5「Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】」の(2)参照)を明示し客観的に説明した作文1枚以内(所定用紙No.3の冒頭に「②」と記し、直後の升目から本文開始)
- ③上記②を根拠としつつ自己アピールする作文1枚以内(所定用紙No.3の冒頭に「③」と記し、直後の升目から本文開始)
- ④自己アピールしたい事柄について、上記の①～③を要約した作文1枚(所定用紙No.2-(1))
- ⑤**国内受験生の場合**、所属高等学校等において既に学んだ数学の全教科書に載っている全課題・問題等および解答を自筆にて記述したA4ノート(全てのノートの裏表紙に在籍または卒業した高等学校等の教員1名による校閲と署名・押印を受けたうえで提出)

海外帰国生の場合、日本における高等学校の普通科に対応する数学の教科書・参考書等を随意に入手したうえで、同様のノートを作成し提出。

⑥**海外帰国生の場合のみ**、戸籍抄本またはパスポートの写しを提出

- ・パスポートについては、「氏名、国籍、パスポート番号、発行年月日」記載部分をA4サイズの用紙にコピーして提出。
- ・日本国の永住権を有する場合は、永住許可・特別永住許可を証明する書類のコピーを提出。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

- ①自己推薦書に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(**コピー可**)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、**資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。**

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

- ②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類を提出してください。

■教員による所見(所定用紙No. 5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例：校長、クラス担任、クラブ顧問等)

人間総合理工学科

■自己アピール書類(任意書式)

あなたが自己アピールしたい事柄および志願理由について、まず100字(英語の場合40語)以内で要約し、A4サイズ用紙に2,000字(英語の場合800語)以内を目安に詳しく記述してください。記述にあたっては、本学科の研究分野のうち自分が興味を持っているもの(複数可)を明確に示し、その分野に興味を持ったきっかけ・理由、その領域を探究するうえで有用であるとする自己の能力についてのアピール、人間総合理工学科でその分野を学ぶことによるあなた自身の社会貢献・参加の展望等について、具体的に述べてください。

- ・書類作成にはワープロ・ソフトを利用して、横書きで作成してください。12ポイント以上の文字で印字して、最後に文字数を記載してください。
- ・本文の内容を分かりやすく補足するため、写真、スケッチ、地図、新聞記事等を使用することを推奨します。その場合は、添付資料があることを本文中に明記したうえで、A4サイズの別紙に貼り付け、それぞれ50字(英語の

場合20語)以内の補足説明を加えて、併せて提出してください(上記の2,000字(英語の場合800字)には数えない)。

■活動実績等に関する資料証明書(表紙)(所定用紙No.4)

①自己アピール書類に記載した事柄について、証拠となる資料で本人氏名が記載されているものを用意してください(**コピー可**)。所定用紙No.4を表紙として、資料本体は全てA4サイズに揃えてください。なお、**資料中の本人氏名の部分には、マーカーあるいは赤鉛筆で印をつけてください。**

例：資格試験の合格証、賞状、活動が掲載された新聞、雑誌、Webページの写し等

②資料番号は上から順に連番としてください。

※Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】に関連する書類がある場合は、提出してください。

■教員による所見(所定用紙No.5-(1))

在籍または卒業した学校の教員の所見を記入いただき提出してください。記入いただく教員は、本人の高校生活をふまえて記入することができれば役職等は問いません。(例:校長、クラス担任、クラブ顧問等)

■任意提出書類

自己アピール書類(任意書式)だけでは表現しきれない、あなた自身の個性や人柄、能力の評価において考慮してほしい事柄を示すものがあれば、資料として提出することができます。以下の注意事項に留意し、大学入試の資料として適切であると思われるものを、受験者自身の判断で選択・収集して、提出してください。

- ・資料は、紙の書類等をまとめたファイルまたは音声・動画ファイルとして作成してください。最大10点まで提出できます。
- ・各資料についての説明(それぞれ100字以内、英語の場合は40語以内)を含む資料リストを作成し、必ず一緒に提出してください。資料はこのリストを表紙として、リストの順に並べてください。
- ・書類のファイルはA4サイズとし、複数枚ある場合にはページ番号を振ってください。
- ・授業の課題や部活動の一環として作成したレポート等を資料とする場合は、要旨(A4用紙1枚以内)と課題提示者の講評および評価(形式は任意)を添えてください。グループで行った課題については、グループの人数・構成、グループの中であなた自身が果たした役割を、要旨の中に含めてください。
- ・取得資格やコンテストの結果等に関しては、判定基準や選考過程の分かる資料があれば、併せて提出してください。
- ・音声・動画ファイルを提出する場合には、一般的なWindows/パソコンに付随するソフトウェア(Windows Media Player等)で再生可能であることを、事前に受験者の責任において確認してください。提出するメディアは、CD-ROMとします。
- ・自作のコンピュータ・プログラムやソフトウェア、スマートフォン・アプリ等を資料とする場合は、プログラム等自体ではなく、その機能や動作の様子をまとめた動画やレポートとして提出してください。2次選考のプレゼンテーションで、実際にデモンストレーションをすることも可能です。但し、そのための機材・パソコン等は、受験者自身で用意してもらう可能性があります。
- ・原則として提出資料は返却しません。

■戸籍抄本またはパスポートの写し(海外帰国生の場合のみ提出)

- ・パスポートについては、「氏名・国籍・パスポート番号・発行年月日」記載部分をA4サイズの用紙にコピーして提出してください。
- ・日本国の永住権を有する場合は、永住許可・特別永住許可を証明する書類のコピーを提出してください。

証明書類の原本照合について

一旦提出した出願書類は出願資格の有無にかかわらず、**いかなる理由があっても返却しません**。証明書類についても、返却できません。

特に、証明書類について、本学の入学試験に不合格となった場合に、他大学等の出願に使用するために返却してほしい旨を本学に申し出ても応じられません。**原本が1部しかなく、志願者の手元に残しておかなければならない証明書は提出せず、必ず以下の1~3のいずれかの方法により原本照合の手続を行った当該証明書のコピーを提出してください。**

1. 郵送による原本照合

以下の書類を任意の封筒に入れ、入試課まで速達・簡易書留にて郵送してください(封筒に「原本照合書類在中」と朱記すること)。入試課での原本照合のうえ、当該証明書の原本を返却します。

郵送先：〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 中央大学入学センター事務部入試課

【郵送物】

- ①原本照合を希望する証明書類の原本
 - ②上記証明書類の写し
 - ③必要事項を記入した「証明書類原本返却願」(P.20に掲載の様式を使用してください)
 - ④返却用の「レターパックプラス」(520円・赤色)(日本国内への返送を希望する場合は必ず同封すること)
- ※出願書類に①~④の書類を同封し提出しても構いません。但し、①~④の書類が全てそろっていない場合は、当該証明書の原本は一切返却しません。
- ※郵送に伴う書類の紛失や返却の遅延等に伴う損害について、本学は一切責任を負いません。
- ※海外からの出願に限り、④返却用の「レターパックプラス」の同封は不要です。
- ※書類の返送までは日数を要します(本学に着信した2、3日後に発送)。返送料について本学は負担しません。

2. 出身(在籍)学校での原本照合

証明書の原本を学校へ提出し、以下のとおり作成していただくよう、ご担当の先生に依頼してください。

※原本照合が可能な出身(在籍)学校は、出願資格(P.2参照)に該当する学校に限ります(予備校等による原本照合では受け付けられません)。

ご担当の先生方へ

- ①当該証明書が原本であることを確認のうえ、コピー(白黒でも可)をおとりください。
- ②コピーの余白等に「原本と相違ないことを証明する」旨をご記入のうえ、出身学校の印(学校長の印)をご捺印ください。
- ③証明書の原本およびご捺印済のコピーを志願者本人にご返却ください。

3. 公的機関での原本照合

証明書類のコピーに、大使館、公証役場等の公的機関で認証を受けたものでも、出願書類として受け付けます。

【特別入学試験】 証明書類原本返却願

証明書等の郵送による原本照合を希望する場合は、以下①～③の要領で手続を行ってください。

- ①太枠内に必要事項を明記する。
 - ②返却用の「レターパックプラス」(520円・赤色)を用意し、返送先住所および電話番号を「お届け先」欄に記入する。
 - ③原本照合を希望する証明書の原本とその写し、「証明書類原本返却願」(本用紙)および「レターパックプラス」をあわせて、出願前に、もしくは出願書類に同封し、入試課に郵送する。
- ※海外からの出願に限り、「レターパックプラス」の同封は不要です。

太枠内を記入してください。

氏 名	
出願する試験方式	
学部・学科・専攻(プログラム)	
電話番号	()
原本の返却を希望する書類 ※返却を希望する書類を全て記入してください。	合計 () 枚
海外からの志願者で、証明書の原本の返却先が国外の場合、以下も記入してください。	
氏 名(英字)	
返却先住所(英字)	
電話番号(国番号から記入)	

注意

- ・「レターパックプラス」は郵便局窓口やコンビニエンスストア、郵便局のネットショップで購入してください。
- ・「ご依頼主様保管用シール」は、剥がさないでください。
- ・「レターパックプラス」は2つ折りにして同封しても構いません。
- ・原則として、「証明書類原本返却願」(本用紙)および「レターパックプラス」が同封(海外からの出願に限り不要)されていた場合に限り、原本を返却します。不備・不足等がある場合は、原本は返却しません。
- ・書類の返送までには、1週間程日数を要します。
- ・郵送に伴う書類の紛失や返却の遅延等に伴う損害について、本学は一切責任を負いません。

大学使用欄

--	--

(3)出願書類の送付方法

出願書類は、郵送での提出のみ受け付けます。必要書類を市販の封筒(角2サイズ「240mm×332mm」)に入れ、「宛名ラベル」を貼付し、出願期間内(締切日消印有効)に、速達・簡易書留にて送付してください。

※出願期間経過後の消印の出願書類は一切受け付けません。

※入学検定料の納入が完了していない場合、宛名ラベル印刷ボタンは表示されません。入学検定料納入後、出願登録完了画面から印刷できます。

※プリンタを所有していない等、宛名ラベルの印刷ができない場合は、宛名ラベルの内容(送付先、出願番号、出願先学部・学科・コース、試験方式、氏名、カナ氏名、本人連絡先住所)を出願する封筒に転記してください。

※日本国外在住の場合は、EMS、DHL等の追跡可能な航空便(Registered Post by Air Mail)で以下の送付先に郵送してください(締切日消印有効)。「宛名ラベル」は封筒に貼らず、出願書類と一緒に封筒の中に入れてください。書類は折り曲げずに郵送してください。

送付先	Chuo University Admissions Section 742-1 Higashinakano, Hachioji-shi, Tokyo 192-0393 Japan
-----	---

※出願書類到着確認のための問合せはご遠慮ください。書類の到着については、郵便追跡サービスを利用し確認してください。なお、「UCARO」にて出願状況を確認できます。

V.選考

選考は、2段階選考となります。2次選考は、1次選考合格者のみが対象です。

1.1次選考(書類選考)

出願書類をもとに、書類選考を行います。

1次選考合格発表日：2023年10月20日(金) 11:00～

※合格発表は「UCARO」において行います。

2.2次選考

2次選考では、1次選考合格者を対象に、学科ごとに試験を実施します(詳細はP.22～24参照)。

※選考方法に関する問合せ(面接の形式や面接時間、筆記試験の内容に関する質問等)については、一切応じることができません。一部学科の選考方法の詳細に関しては、「P.28～35 X.Q&A」を参考にしてください。

(1)受験票

受験票取得開始日：2023年10月20日(金) 11:00～

受験票は、「UCARO」にて取得できます。各自で印刷し、試験当日に持参してください。アクセスが集中し、混み合う場合がございます。試験日までに余裕をもって印刷してください。

※本学からの受験票の郵送は行いません。

※スマートフォン等での「UCARO」の画面表示での受験はできません。

[受験票の取得方法]

「UCARO」にログインし、メニューにある「受験一覧」で該当する入学試験を選択してください。

「受験票・受験番号照会」の画面に進み、「受験票を印刷する」ボタンをクリックし、画面の案内に従って受験票を印刷してください。

※受験票は必ずA4・白紙に印刷してください。カラー・白黒は問いません。

※受験票が出力できない等の場合は、UCARO事務局(TEL 03-5952-2114)にご連絡ください。

※「カナ氏名」等、記載内容に誤りがある場合は、入試課(問い合わせフォーム:<https://chuo-admissions.zendesk.com/hc/ja/requests/new>)へ連絡してください。但し、出願内容(試験方式・学部・学科)は一切変更できません。

※受験票(裏面も含む)には、一切の書き込みを禁止します。試験当日、書き込みのある受験票を持参した場合、不正行為となる場合があります。

(2)試験

試験日：2023年11月11日(土)

※試験は、後樂園キャンパスで実施します。なお、集合場所および集合時間は、受験票にてお知らせします。

※選考に関する問合せ(試験の詳細等)については、一切応じることができません。

数学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14~18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(90分)：午前 基本的な題材により数学的思考力を問うもの。

②面接：午後

物理学科

物理学科のWebサイト(<https://www.phys.chuo-u.ac.jp/admission/>)に掲載された探究課題の中から1テーマを選んでください。それについて、以下の要領で選考します。

<1次選考>

在籍(出身)高等学校の教員(理科または数学の教員とする。物理担当教員が望ましい)1名をメンター(助言者)とし、そのアドバイスの下、探究課題にチャレンジしてください。実験および考察を行い、それをまとめたレポートを提出してください。レポート添付書類には、必ずメンターの所見を記入してください。「問題解決力」と「創造力」を評価します。

→ 「出願書類(P.14~18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(60分)：午前

探究課題ごとに試験問題を用意します。各自、自分が選んだテーマに関するテストを受験してください。高等学校の物理および数学の教科書の関連する箇所についてどのくらい理解できているか、基礎的な問題を課すことにより、「知識獲得力」と「専門性」を評価します。

②グループ内でのレポート発表：午後

受験生を少人数グループに分けます。グループごとに、他の受験生と数名の審査委員(大学教員)の前で、各自10分間ずつ発表をしてもらい、その場でディスカッションをします(質疑応答は、受験生同士が5分間、審査委員とは10分間程度とします)。「自己実現力」と「コミュニケーション力」を評価します。

※各自でスライドの電子ファイルを用意し、パソコンを持参してください。プロジェクターとスクリーンはこちらで用意します。

都市環境学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14~18)」参照

一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)が開催するオンライン授業のうち、公益社団法人土木学会が提供する「比較自然災害学(水災害編)~多発する多様な自然災害にどう向き合うか~ 第3章:豪雨編」の4つの動画を全て視聴し、総括的にこれらの1)概要と2)考察を記述したレポートを提出してください。

※動画視聴については、P.14、15を参照してください。

<2次選考>

①筆記試験(60分)：午前

基礎学力、論理的思考力、都市環境についての理解や発想を問うもの。

②グループディスカッション：午後

筆記試験の問題を題材にグループディスカッションを行います。

ただし、2次選考の人数が少なかった場合には、評価基準を同様にしたうえで個別面接に変更する可能性があります。

精密機械工学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(90分)：午前

本学科で教育を受けるための最低限の基礎学力チェックを行います。

②面接(20分)：午後

面接では、これまでのものづくりの経験等、学習意欲や創造性をアピールするもの(「Ⅱ-Ⅱ.【学科別出願資格】」(1)の①～④に該当するもの)と、創作課題について、パソコン等を利用したプレゼンテーションをしていただき(10分程度)、質疑応答を行います。

※2次選考にあたり創作課題の作成が必要です。創作課題の具体的な内容は、1次選考合格発表時にお知らせしますので、必ず確認し、指示に従ってください。

※プレゼンテーションは、パソコン等を使用してパワーポイント等のPCプレゼンテーションツールにより発表してください。会場にはプロジェクターが準備されています。

電気電子情報通信工学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①実験または演習：180分程度(説明を含む)

数学や理科の知識を活用し、設定された課題に主体的に取り組んでもらいます。

②面接20分～30分程度(①で取り組んだ課題の成果発表10分を含む)

①と②により主体性、洞察力、知識獲得力を総合評価します。

応用化学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(60分)：午前

日本語および英語の読解力や記述能力、論理的思考能力、問題解決能力、創造力等を判断します。

②面接20分程度：午後

面接では、自己アピール(5分以内)をしていただいたうえで、出願書類と筆記試験の結果も含めて質疑応答を行います。同時に化学の技術・知識に関する質疑応答も行います。なお自己アピールでは、パソコンを使ったプレゼンテーションやポスター、スケッチブックによるプレゼンテーションが可能です(会場にはWindowsパソコンおよびプロジェクターが準備されています)。また、自己アピールの根拠となる資料等があれば持参してください。

ビジネスデータサイエンス学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(60分)：午前

筆記試験では、読解力や論理的思考能力、問題解決能力、創造力、日本語の記述能力および基礎学力を判断します。

②面接30分程度：午後

面接では、出願書類と筆記試験をもとに質疑応答を行います。また、基礎学力を問う質問も行います。受験者の希望があればパワーポイント等を使ったプレゼンテーションが可能ですので事前に方法を検討して面接時に持参してください。また、自己アピールの根拠となる作品等があれば持参してください。

情報工学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①筆記試験(60分)：午前

知識獲得力が「ひととおり情報収集し、新しい知識やノウハウを習得できる」水準に達していることおよび専門性が「数学を概ね理解し、それに関連する情報の理解と正確性の判断を経て自ら主張できる。ある程度の緻密さや正確さを伴った作業が行える」水準に達していることを確認するため、数学I、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cに関する筆記試験を行います。

②面接30分程度：午後

問題解決力が「与えられた課題を正しく理解し、解決しようとする」水準に達していることおよび創造力が「普段から自身の興味ある分野について情報収集し、新しい発想や技術に関心をもっている」水準に達していることを主に確認するため、出願書類と筆記試験に基づいて質疑応答を行います。1次選考において提出した出願書類のほかにも、アピールの根拠となる作品等や写真・設計図等の現物があるときは、それらを持参しても構いません。また、PCプレゼンテーションツールを利用した随意発表(10分程度)も認めます。

人間総合理工学科

<1次選考>

出願書類に基づく書類選考 → 「出願書類(P.14～18)」参照

<2次選考>

①主として自己アピール書類に関するプレゼンテーション(15分程度)

②質疑応答(①に続いて)

①、②を行い、その結果と提出書類を総合的に評価して最終合格者を決定します。

※プレゼンテーションは日本語か英語を選択できます。但し、英語の場合は、質問等で日本語の理解力もテストします。

※ホワイトボード、予め用意したポスター、パソコン等を必要に応じて使用してください。

※会場には、Windowsパソコンおよびプロジェクターが用意されています。

※Windows/パソコンで作動する一般的なソフトウェア以外を使用したい場合には、受験者自身にてパソコンを持参していただく場合があります。

(3)受験上の注意

- ①後楽園キャンパスの開門時間は8:00です。
- ②試験会場へは公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って来るようにしてください。なお、首都圏の主要な公共交通機関に乱れ・遅れが生じ、遅刻しそうな場合は、理工学部事務室(後楽園キャンパス6号館1階 TEL 03-3817-1715)までお問い合わせください。
- ③受験票(受験者各自で印刷)・筆記用具・時計・入学試験要項は試験当日必ず持参してください。なお受験票を忘れた場合は、理工学部事務室まで申し出てください。
- ④昼食は各自で用意してください。ごみは各自で持ち帰ってください。
- ⑤スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末・ウェアラブル端末等の電子通信機器は試験教室に入る前に電源を切って、かばん等にしまってください。また、アラーム機能がある場合は、音が鳴らないよう設定してください。これらを時計として使用することはできません。
- ⑥生活騒音(航空機、自動車、風雨、空調その他室内設備から生じる音、動物の鳴声、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音等)が発生した場合に、特別な措置は原則として行いません。
- ⑦カンニング行為や他の受験者の迷惑となる行為をする等、監督者が不正行為と判断した場合は、本受験は無効とします。また、不正行為者の在籍高校に報告する場合があります。

VI.合格発表

合格発表日:2023年11月17日(金) 11:00～

合格発表は「UCARO」において行います。

※合格発表は、2024年3月31日(日)の23:59まで確認が可能です。

※合格通知や合否結果通知の郵送は行いません。UCAROにログインし、「合否照会」の画面に進み、「合格通知書を印刷する」をクリックすると「合格通知書」のダウンロードができます。また、合否に関する問合せには一切応じません。

VII.入学手続

重要

入学手続方法については、入学手続サイトに掲載する『**入学手続要項**』を必ず確認してください。入学手続サイトのURLは、「UCARO」での合格発表の際お知らせします。本学から入学手続に関する書類の郵送は行いません。なお、合格後の入学手続に関する問合せ先は、入学企画課（お問合せフォーム：<https://chuo-enrollmentmanagement.zendesk.com/hc/ja>）です。入学試験に関する問合せ先(入試課)とは異なりますのでご注意ください。

入学手続は、次の手続を所定の期限内に行うことにより、完了します。期限後の入学手続は一切できません。

期限内に入学手続を行わない場合は、入学を許可することができませんので十分注意してください。

1.入学手続期間

2023年11月17日(金)～11月27日(月)【期日厳守】

2.入学手続手順(本学への入学の意思が決定している場合)

本学への入学手続を行うには、上記手続期間内に以下の①および②を完了する必要があります。合格後にご案内する『入学手続要項』に手順を記載しますので必ず確認してください。

①入学申込金・学費等の納入

上記期限内に、「UCARO」の合否照会より学費等の振込用紙をダウンロードのうえ印刷し、「入学手続時納入金」(入学申込金、初年度学費の1/2額および諸会費)を納入してください。

②「UCARO」にて入学手続情報の入力

※入学手続における入学申込金・学費等の支払は、原則として日本国内の金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)からの振込となります。クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy、インターネットバンキングおよびATM・STMでの振込はできません。

※「高等教育の修学支援新制度」対象の方は、上記の手続に加え、別途書類を提出することにより、学費等納入の猶予を受けることができます。詳細は、合格後にご案内する『入学手続要項』で必ず確認してください。

3.入学手続の延期(他大学を併願する場合)

入学手続の延期期限：2024年3月25日(月)【期日厳守】

他大学を併願する場合は、「入学申込金」(240,000円)を納入期限(2023年11月27日(月)【期日厳守】)内に納めた場合に限り、入学手続を延期することができます。

最終的に本学へ入学手続を行う場合は、入学手続延期期限である2024年3月25日(月)までに学費その他の納入金を納入し、併せて、「UCARO」へ入学手続情報の入力を行ってください。期限後の手続は一切できません。

なお、「入学申込金」は、本学への入学手続を行わなかった場合は一切返還しません。

4.入学辞退

本学への入学手続を完了した後に、入学の辞退を希望し、指定の期日までに所定の届出を行い、受理された場合は、入学手続時納入金のうち、「入学申込金」(240,000円)を除く学費その他の納入金を返還します。

Ⅷ.学費その他の納入金

入学初年度および入学2年目以降の学費その他の納入金については、本学Webサイト内の【学費・入学金】(https://www.chuo-u.ac.jp/academics/fees/admission/faculties_new_student/)をご参照ください。

Ⅸ.その他

(1)過年度試験結果

学科	2023年度		2022年度	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
数学科	19	7	13	5
物理学科	2	2	2	2
都市環境学科	3	0	5	2
精密機械工学科	1	0	0	0
電気電子情報通信工学科	2	1	4	2
応用化学科	4	3	0	0
ビジネスデータサイエンス学科	4	2	4	3
情報工学科	1	0	0	0
人間総合理工学科	17	8	14	7
計	53	23	42	21

(2)寄付金について

本学では、教育環境の充実等を目的として、在学中にご父母の皆様任意のご寄付をお願いする予定です。詳細につきましては、ご入学後にご案内を申し上げます。

(3)受験の際の宿泊施設について

受験の際の宿泊施設について、中央大学生協旅行センターでご案内しています。

中央大学生協旅行センター TEL 042-674-3048 FAX 042-674-3046
Email: kokunai@coop.chuo-u.ac.jp

(4)通学キャンパス

理工学部の授業は、原則として後樂園キャンパスで行います。

(5)住まいのご案内

住まいの斡旋は、中央大学生協理工店が各不動産業者と提携して行っています。詳細は下記サイトでご確認ください。

中央大学生協理工店 TEL 03-3814-5928 FAX 03-3815-5492
生協 Web サイト <https://chudai-seikyo-oheyasagashi.com/>

X.Q&A

【学科共通】

- Q. 過去問題集を公開していますか。
A. 本入学試験の過去問題は、一切公開していません。

【数学科】

(1)出願者の資格について

- Q. 要項にⅡ-I.【学科共通出願資格】、Ⅱ-II.【学科別出願資格】本学で数学を学習するための基礎学力を持ち、数学に関する学習意欲、創造力をアピールできる者、とあるのは、両方の条件を満たしている者ということですか。
A. そうです。この高大接続型自己推薦入学試験では、Ⅱ-I.【学科共通出願資格】に加え、数学に関し自他共に認める「何か」を持っている人を、一般選抜によらずに、積極的に受け入れようと考えています。

Q. 高等学校から大学への飛び入学も認めていますか。

- A. いいえ。Ⅱ-I.【学科共通出願資格】の条件が必要ということは、いわゆる飛び入学は認めないということです。但し、本数学科には「科目等履修」の制度が実施されています。この制度によって現役高校生時代に本数学科の単位を修得されますと、本学入学後にその分進級が容易になり、学部から本学大学院への飛び入学(これはすでに実施されています)の可能性が大きくなります。

(2)自己推薦書について

- Q. まず100字以内で要約し、500字以内で詳しく記述するとありますが、あまり長くなくてもよいのでしょうか。
A. これが自己推薦の一番肝心なところですから、せっかくの記載スペースを十分活かして、しっかり自分をアピールしてください。

(3)2次選考の筆記試験について

- Q. 筆記試験はどんな形式で行われますか。一行問題になるのですか、それとも何かを読んだうえで論述するのでしょうか。筆記試験の文字数やテーマについても教えてください。
A. これは、年度によって変わることもあるので、一概には言えません。しかし、数学的素養を見ることを目的としていますので、数学の問題に関して数学の論証をすることが中心になります。筆記試験の時間が90分であることに留意し、設問がどのようなものであっても、時間内に考えをまとめて要領よく記述するよう心がけてください。テーマは高等学校の数学の基本から外れることはありません。

(4)面接について

- Q. 面接ではどんなことが重視されるのですか。筆記試験の内容も問われるのでしょうか。
A. 自己推薦書でアピールしたことと数学的素養を、面接で確かめることとなります。もちろん、筆記試験の内容も面接で取り上げられることでしょう。要は、志願者が本数学科で自分の力を発揮し、数学の勉強に打ち込んでいくことが可能かどうかを、面接によって判断したいのです。なお、面接時間は20分ほどを見込んでいますが、延びることもあります。

【物理学科】

- Q. 中央大学物理学科の高大接続型自己推薦入試は、他の自己推薦入試と何が違うのですか。
A. 中央大学物理学科のWebサイト(<https://www.phys.chuo-u.ac.jp/admission/>)に掲載された探究課題の中からテーマを1つ選び、自分で実験をして、レポートを作成してもらいます。その際に、メンター(助言者)1名の協力を得ることができるところが特色です。メンターは高等学校の理科か数学の教員、できれば物理担当の先生が望ましいです。また、2次選考でのレポート発表会は、審査委員(私たち大学教員)だけでなく、少人数グループ内の他の受験生も一緒に行うのも特色です。

Q. 探究課題はどのようなものですか。実験テーマはどのように選んだらよいですか。

A. まず、物理学科のWebサイトで探求課題を確認してください。探究課題は、高等学校の「物理基礎」と「物理」の教科書の内容から選んだものです。学校で使っている教科書の該当するところを読んでみて、実験を行ってレポートを作成することができそうかどうか、まずはよく考えてみてください。教科書の章末や節末に、実験の方法が書いてあることがあります。そういった記述は大いに参考にしてください。

中央大学物理学科のWebサイト(<https://www.phys.chuo-u.ac.jp/admission/>)にもヒントを載せておきます。高等学校の理科室にある実験器具や装置を使わせてもらえるかどうか、メンターの先生に予め相談してみると良いかもしれません。

Q. 探究課題の実験をする際に、メンターの先生や学校の友達に手伝ってもらってもよいですか。

A. 実際に実験をすることによって、高等学校の授業で習った物理の内容を正しく理解し、より深く考えてもらうことがこの入試の目的です。実験がうまく行かないときは、何か考え違いや考え落としがあるのかもしれませんが。そのようなときは、メンターの先生からのアドバイスを大いに参考にすべきです。場合によっては、あなたと同じように物理に興味を持っている学校の友達と議論することで、すばらしい改良案を思いつくかもしれません。しかし、これはあなた自身の入学試験であることは忘れてはいけません。あくまで、あなたが主体的に探究課題に取り組んでください。あなたが大学に入って物理学を学んでいくための素質が試されます。

Q. 1次選考の際に提出するレポートを書くにあたって、メンターの先生や学校の友達と相談してもよいですか。

A. 1次選考のために提出してもらったレポートは、この入学試験を受験したあなたの「解答」です。ですから、学校の友達に相談することはせずに自分自身で作成してください。但し、物理の実験レポートをどのような構成で書いたらよいのか、あるいは、図やグラフをどのように用いたら効果的なのか等、よく分からない人もいますので、メンターの先生との相談は良いこととします。メンターの先生には、所見として、「実験やレポート作成の際にどのようなアドバイスをしたか」、また、「それに応じて受験生がどのような創意工夫を行ったか」を記述してくださいませう、お願いいたします。私たちは、メンターの先生方から頂いた所見が、この高大接続型入試の要と考えています。

Q. 2次選考の際の筆記試験にはどのような対策が必要ですか。一般選抜の問題よりは簡単ですか。

A. 選択した探究課題ごとに別々の試験問題を用意しますので、一般選抜と比べると、出題範囲は絞られることとなります。「物理基礎」と「物理」の両方の教科書の該当する部分をよく勉強してきてください。但し、筆記試験には必ず計算問題も出題します。ですから、数学もしっかり勉強しておかなければいけません。大学での物理学では、数学を積極的に用います。大学入学後、講義や演習でつまづくことがないように、高等学校における物理と数学の両方の基礎学力を試験します。

Q. 2次選考のレポート発表の対策方法についてアドバイスをください。

A. レポート発表では、1次選考の際に提出したレポートよりも、図表やグラフをさらに効果的に使うことが求められます。1次選考の結果発表から2次選考まであまり日にちがありませんが、メンターの先生とも相談して、プレゼンテーションの仕方を工夫してみてください。発表用に作成した図やグラフ等を学校の友達や家族に見せて意見を聞いてみると、より分かりやすいものに改良できるかもしれません。

Q. 2次選考でのレポート発表のために用意したスライドの電子ファイルをUSBメモリーに入れて持って行けば、当日、パソコンは貸してくれますか。紙のポスターやOHP使用は可能ですか。

A. 発表に使うパソコン等は、各自持参してください。紙のポスターやOHP等での発表は不可とします。

Q. 2次選考でのレポート発表は、他の受験者もいるところで行うということですが、その意図は何ですか。

A. 同じ探究課題を選んだとしても、実験の方法やその考察の内容は受験生によってそれぞれ違っているはずですが、レポート発表会では同じグループ内に異なる探究課題を選んだ受験生も含まれます。同じく物理学科への進学を希望する同年代の受験生の、それぞれの創意工夫を聴くことは、それ自体よい勉強になることでしょう。この高大接続型自己

推薦入試では、入学試験そのものも「学び」の場となることを期待しています。

Q. 2次選考でのレポート発表では、受験生どうしでの質疑応答の時間が5分ずつ用意されているそうですね。自分の発表とそれに対する質問にはうまく答えられても、他の人の発表に対して質問ができないと減点されてしまいますか。

A. 大学での講義や実験では、些細と思われるようなことでも、その都度、講師に質問することを奨励しています。質問した人自身が正しく理解しているかどうかを確認できるだけでなく、そのときの講師とのやり取りを聴くことによって、受講者全体の理解度も上がるからです。入学試験ではありますが、私たち審査委員だけの前で発表するのではなく、「将来のクラスメート」たちの前で発表し合う楽しい発表会にしたいと思っています。他の人の発表をよく聞いて、各自一つずつは質問するよう努めてください。受験生どうしの質疑応答に関しては、減点方式ではなく加点方式で評価することにします。

【都市環境学科】

Q. コース制とは何ですか。

A. みなさんが大学生活中にしなければならないことの一つは、自分の進路を決めることです。高学年に進級するにしたがって、次第に自分が進むべき進路のイメージができてくるはずですが、コース制はこの作られていく進路のイメージをもとに、存分に勉強するための仕組みです。将来進もうと思う分野の科目を重点的に勉強します。都市環境学科には、①自然科学、力学等の知識をもとにエンジニア(技術士)として活躍する環境クリエイターコースと②社会科学、統計学等の知識を踏まえて公務員等で活躍する都市プランナーコースがあります。2年次と3年次でコースを選択します。3年次に変更することも可能です。

Q. 大学院に行きたいのですが。

A. これまで毎年数十名以上の学生が、学部で学んだ知識をさらに深める、あるいは知識の幅を広げるため大学院に進学しています。都市環境学科では、学部での成績が優秀な学生に対して大学院への推薦制度があり、また4年次には学部と大学院の共通科目を配置してより高度な知識の修得を支援しています。大学院生はみな少なくとも1度は学会において研究成果の発表を行い、しっかりした問題意識、仮説構築力またコミュニケーション能力を磨いて修了しています。また民間企業や公務員においても大学院生と学部生を区別して採用するケースも増えています。

Q. グループディスカッションはどのように行われ、そこでは何が重視されるのですか。

A. 教員が出願書類を参考にして色々な質問をします。それらの質問に対して自分の言葉で、いかに的確にわかりやすく説明できるかを重視します。自分が理解したこと、考えたことを他の人に正しく伝える能力は都市環境学を学ぶうえでも、将来、研究や実務を行なっていくうえでもとても重要なことです。元気あふれる質疑応答を期待しています。

【精密機械工学科】

Q. 精密機械工学とはどのような学問ですか。機械工学とどこが違うのですか。

A. 機械の精度を上げるとその性能を向上させることができます。例えば光ディスク、ハードディスク等は、機械の精度向上が記憶容量の増加に直結しています。このように精度を追求することで、機械性能の向上、さらには機械の新たな可能性を追求するのが精密機械工学です。精密機械工学科では、機械工学の各分野において、最先端の精密機械を作るために必要な精密さを追求しています。但し、性能を上げるために個々の技術要素の精度のみを追求しても、それだけでは機械全体の精度を上げることはできません。機械のある部分の精度を追求して行くと、その部分のみを高精度化するだけでは不足であることがわかり、視野をシステム全体に広げた発想を迫られるのです。本学科では、基礎となる個々の知識だけでなく、その知識をベースとしながら、それらを統合したシステム全体を見渡すことのできる能力を涵養することを目指しています。これが、本学科の目指す独自の教育ポリシーです。

Q. 2次選考の筆記試験ではどんな問題が出るのですか。

A. 筆記試験の形式、問題は特に定めてはいません。但し、その目的は、本学科で精密機械工学を学ぶために必要な最低限の基礎学力が備わっているか、機械に対する知的好奇心・探究心を十分に持ち合わせているか、自分の意見やアイ

デアを筋道立てて説明する能力が十分かを審査します。身近な機械の動作原理やそれに利用されている物理法則を理解し、新しい機能を付加するならばどのように設計するか、といったことを常日頃から意識してください。

Q. 面接はどのような形式で行われるのですか。

A. 面接では、これまでのものづくりの経験等、学習意欲や創造性をアピールするものと、創作課題に対する回答について発表していただくとともに、発表内容への質疑を行います。発表ではパソコン等を使ったプレゼンテーションを約10分で行ってください。なお、学習意欲や創造性をアピールするものについて3～5分、創作課題への回答を5～7分を目安に説明してもらうことを想定しており、残り時間で質疑を行います。文字では伝え切れなかった内容や精密機械工学に対する熱意を、是非プレゼンテーションを利用して積極的に行ってください。コンテストへの参加作品や工夫した点等、具体的にアピールしたいものがあれば、プレゼンテーションの中で、現物あるいはパソコンでの映像、画像等を利用して説明してください。

Q. 面接ではどのようなことが重視されるのですか。

A. 発表していただいた内容の確認を第一の目的としています。質疑やプレゼンテーションを通じて、精密機械工学を学ぶための意欲と探究心、創造力、論理的思考能力を総合的に評価します。単なる自己紹介とならないよう面接で主張したい点を明確にし、その裏づけとなる事柄とあわせて、時間内にわかりやすく相手に伝えるための練習をしておいてください。

Q. ものづくりコンテストやロボットコンテスト等への参加経験がなく、サークル活動等も行っていないですが、出願はできますか。

A. もちろん出願は可能です。本学科では、大学での教育を通じて、精密機械工学分野における立派なエンジニア、研究者になりうる人材を広く受け入れたいと考えています。これまでものづくり経験が少なくても、精密機械工学に強い興味を持ち、知的好奇心・探究心の旺盛な方であれば出願資格としては十分です。

Q. コンテストへの参加経験はありませんが、仲間と作った面白いロボットがあります。アピールに使えますか。

A. コンテストに参加していなくても、もし何か他人に誇れる機械作品があれば、是非自己アピールに利用してください。グループで作ったものであれば、自分の役割をあわせて説明してください。

【電気電子情報通信工学科】

Q. 電気電子情報通信工学科という名前の中には情報という言葉が入っています。情報工学科との違いは何ですか。

A. 情報工学科では、コンピュータという情報処理機械に関する学問・技術を、その基礎から応用まで学ぶのに対して、電気電子情報通信工学科では、電気現象をエネルギー・物質・情報という3つの側面から捉えた学問・技術を学びます。従って、無線ネットワークの設計を例にとると、暗号によるセキュリティの確保だけでなく、ビルによる電磁波の回折や散乱による影響までも考えるような学科です。

Q. 就職に有利だと聞いていますが、就職先は電気系業種が多いのでしょうか。

A. 今では、身の回りにある工業製品のほとんどが、電気エネルギーを利用し、電気信号で情報を伝達しています。そのため、電気・電子・情報通信工学分野は、21世紀の高度情報化社会を支える必須の学問・技術であると言えます。その結果なのでしょう。電気系、情報通信系だけでなくインフラ系、機械系、化学系等多岐にわたる業種から人材が求められています。実際に、OB・OG 共に様々な業種で活躍しています。このような幅広い応用分野や技術の変化に柔軟に対応できるよう、基礎力の養成に重点をおいたカリキュラムを提供しています。また、電気電子情報通信工学科では、より高度な専門知識や技術、研究開発能力を修得するため、大学院への進学を推奨しています。大学院へは、通常の入学試験による選抜のほか、学部の成績が優秀な学生に対する推薦入学試験により、合計で毎年40～60名(学部の40%程度の割合に相当)の学生がそのまま進学します。大学院修了者は、半数以上が製造業に就職し、技術職・研究職を始めとする専門性の高い職種で活躍しています。

Q. 教育・研究のレベル、設備について教えてください。

A. 中央大学理工学部は教育・研究のレベルが高く、電気電子情報通信工学科の教員も全員が世界で活躍しています。そのような教員の指導の下、ほとんどの大学院生が学会発表経験を持ち、多くの大学院生が国際学会で発表を行っています。学部4年生で学会発表する人もいます。また、このような教育・研究を支える設備も充実しており、4年生で研究室に配属されれば、研究室の施設も使用できます。実情を学科のWebサイトで調べてみてください。

Q. 実験や演習は多いのですか。

A. 体験を通して知識をより堅固なものとするため、また工学の原点がものづくりにあることを実感するため、実験や演習は重要です。さらに、これらのレポートを作成することで、理解が深まり、表現力も育成されます。カリキュラムには、このような実験・演習が効果的に配置されています。年次が進むにつれ、その内容は、自ら問題点を見出し、その解決策を探求するという能力を指向したものになります。

Q. どのような資格が取れますか。

A. 電気主任技術者、電気工事士、無線従事者、電気通信主任技術者等の資格取得あるいは試験の一部免除が可能です。また、中学数学、高校数学、高校情報、高校工業の教員免許の取得が可能です。

Q. 事前課題のレポートには何を書けばいいのでしょうか。

A. この高大接続型自己推薦入試では、将来本学電気電子情報通信工学科での勉学を活かして社会に貢献できる学生のうち、主体性、洞察力、知識獲得力において高い能力を有する学生を受け入れます。したがって電気電子情報通信工学分野はもちろんですが、他の分野でも、これら3つの能力の全てまたはいずれかを使って成し遂げた具体的な事例があれば記述してください。レポートの作成にあたっては、パソコンの使用も認めます。図や写真を入れてもらっても構いません。

Q. 2次選考について教えてください。

A. 2次選考では、当日説明する電気電子情報通信工学分野に関する演習または実験に取り組み、得られた解答(実験結果を含む)について、決められた時間内で発表をしてもらいます。

【応用化学科】

Q. 応用化学と化学の違いはなんですか。

A. 化学の歴史を振り返ってみると、実は応用化学から基礎化学が発展してきました。一例としては、古くは染料化学(応用化学)として試行錯誤されていた中から、有機化合物の行う反応が数多く見出され、それらが整理、理論化されることによって有機合成化学(基礎化学)が作り上げられました。すなわち、具体的な目標を持って物質を創製したり、性質を調べたりするのが応用化学であり、それらの知識や技術を体系化するのが化学といえるでしょう。もっとも現代では、応用化学も基礎化学を基本として展開されていますので、応用化学科のカリキュラムでも、物理化学、無機化学、有機化学といった基礎化学科目もしっかり身につけられるように工夫されています。

Q. 資格を取ることはできますか。

A. 卒業に必要な単位を全て取得するとともに、教育実習をはじめとする教職科目を履修することで教育職員免許状を取得することができます。なお応用化学科で認定できる免許状の種類(教科)は中学1種(理科)、高校1種(理科)となっています。

Q. 私は化学グランプリに出場したことがあり、日本化学会が主催する研究発表会で研究発表したことがあります。この場合、所定用紙No.4にはどちらの資料を添付したら良いでしょうか。

A. 両方の資料を添付してください。アピールポイントは多ければ多いほど有利と考えてください。

Q. 筆記試験にはどのような問題が出るのですか。

A. 化学の基礎知識を問う問題が出題されます。また化学を学び研究に結びつけていくためには英語は欠かすことができませんので、英語で記述された化学的な事柄に関する読解力や英作文能力を問う問題が出される場合もあります。これらによって応用化学科の授業についていけるかどうかに関する判定を行います。

Q. 面接はどのように行われますか。

A. 自己アピールを行ってもらったうえで、質疑応答を行います。自己アピールでは、特に化学に関連した事柄について、これまでどのような取り組みをしてきて、大学入学後はどのようなことがしたいのかを、5分以内の時間で、端的にまとめて話してください。質疑応答では、化学の基礎技術や基礎知識に関して質問します。また、自己アピールの内容、出願書類と筆記試験の結果についても質問があります。なお、自己アピールではパソコンを使ったプレゼンテーションが可能ですが、大学側で準備したパソコン、プロジェクターで投影テストを休憩時間中に行っていただきますので、係の指示に従ってください。

Q. 面接ではどのようなことが重視されるのですか。

A. 化学を専門に勉強していくための素養や熱意があることが重要です。筆記試験や面接での応答を通して、化学の基礎知識に基づいた考え方が身に付いているか、質問の意図をよく理解して論理的な受け答えができるコミュニケーション能力があるか、といった点をチェックします。

Q. 数学や物理が苦手でも、大学の授業についていけるでしょうか。推薦入試受験希望のため、いわゆる受験勉強をしていないので心配なのですが。

A. 化学を専門として学ぶ場合でも、基礎的な数学や物理学、たとえば微積分や力学、電磁気学の知識は、どうしてもある程度は必要となります。そのため、応用化学科のカリキュラムにも数学や物理の授業が組み込まれています。しかし、物理に関しては高等学校で物理を履修しなかった人向けの「未修クラス」がありますし、数学にも補習クラスが設けられていますので、特に心配する必要はありません。重要なことは、高等学校で履修している科目をしっかりと学んだうえで進学していただきたい、ということです。大学での授業は、高等学校の教科書の内容がわかっているならば、十分についていくことができるでしょう。実際の応用化学科全体での4年卒業率(入学者数に対する4年で卒業になる学生数の割合)は、直近のデータで約8割です。

【ビジネスデータサイエンス学科】

Q. ビジネスデータサイエンスとはどんな学問ですか。 ビジネスデータサイエンス学科では何を学ぶのですか。

A. 本学科では特に企業や組織、社会の問題解決のための理論や方法論、科学技術について体系的に学びます。そのため、本学科では「データサイエンス」「データエンジニアリング」「ビジネス」の3つの分野により学問を体系づけています。それぞれの分野の具体的な科目群についてはシラバスや学科カリキュラムを参照してください。データに基づいた高度な評価や意思決定を行うための数理科目、データを扱う計算機に関する科目、技術を適用するビジネス領域の科目を十分に学べる科目を配置しています。また、本学科ではPBL(Project Based Learning)を重視しており、理論的かつ実践的な知識と技術を習得することを重視しています。

Q. 入学試験要項の「出願資格」は多くの項目が書かれていますが、全てをクリアしていなければ応募できないのでしょうか。

A. 本試験では、基礎学力、創造力、知的好奇心、学習意欲といった点に基準を置いた選考を行います。大学での教育に耐えうるには一定の基礎学力を有することが不可欠なため、出願資格のⅡ-I.【学科共通出願資格】については必ずクリアしていなければなりません。そのうえで、Ⅱ-II.【学科別出願資格】のビジネスデータサイエンス学科の(2)「基礎学力、創造力、知的好奇心、学習意欲をアピールできる者」を積極的に受け入れようと考えています。Ⅱ-II.【学科別出願資格】(2)の中で挙げた例については、参考にはなると思いますが、必ずしも全ての項目を満たしている必要はありません。また、例示されていない項目をアピール項目として挙げてくださっても構いません。活動実績や受賞歴、資格等は自己推薦書で自由にアピールしてください。書類選考で十分な検討を行います。コンクールやコンテストについては、規模よりも内容を重視します。本学科の自己推薦の趣旨から言って、大きなスポーツ大会での活

躍よりは、小さな規模であっても数理科学やシステム工学、コンピュータ科学に関連する領域のものが望ましいと言えるでしょう。

Q. 自己推薦書には何を書けばいいのでしょうか。

A. 高大接続型自己推薦入学試験では、書類選考と筆記試験・面接の2段階で選考を行います。書類選考では、出願資格をクリアしているか否かと、自己推薦書の内容について評価します。大学での教育に耐えうる一定の基礎学力があることは前提としますが、それよりも社会に対する問題意識を持ち、大学時代に実社会で役に立つ理工学の学問体系を体得したいと考える意欲のある方を歓迎します。大学での教育や研究は、単に与えられた問題を解く受け身なものではなく、自ら問題を発見し、解き方を考える自発性や独創性が重要であると私たちは考えています。自己推薦書では、ご自分の個性や社会に対する問題意識をアピールしてください。

Q. 2次選考の筆記試験はどのような形式で行われますか。

A. 筆記試験の形式やテーマ、文字数は年度によって変わりますが、自己推薦書とは異なり、限られた時間内でテーマ内容を理解する読解力、自分の意見やアイデアを出す創造力、そのアイデアを論理的に記述する能力を判断します。基礎的な学力を問うような問題が出題されることもあります。

Q. 面接ではどのようなことを訊かれるのでしょうか。筆記試験の内容も問われるのでしょうか。

A. 面接では、自己推薦書でアピールされた内容を確認することになります。ビジネスデータサイエンス学科で意欲を持って学問に打ち込んでいく人材であるかどうかを判断するために面接を行います。文章で書ききれなかった思いや熱意を語っていただければと思います。また、筆記試験で記述された内容について面接で取り上げられることもあるでしょう。基礎的な学力を問うような質問がなされることもあり得ますが、特に事前準備を要するものではありません。

Q. 提出課題はどのような観点から評価されるのでしょうか。

A. ビジネスデータサイエンス学科で学ぶためには、基礎的な数学の知識は不可欠です。そのため、ビジネスデータサイエンス学科のカリキュラムにも数学関連の授業が多数組み込まれています。入学時に必要と考える数学の練習問題を課題として課しますので、しっかりと学習したうえで進学していただければと思います。現時点での出来具合よりも学習意欲に重点を置いて評価します。課題に対する取り組み姿勢については、面接でも質問することがあります。

【情報工学科】

Q. 数学の自筆ノートとして、計算した紙の束をまとめて提出しても、構いませんか。

A. 数学にかかわる題材を用いて論理的説明が日本語で行えるかを見極めたいので、式が殴り書きされた計算用紙の束は、評価に値しないものと考えてください。

Q. 高等学校の普通科以外を卒業見込みのときは、出願できますか。

A. 出願できますが、知識獲得力が「ひととおり情報収集し、新しい知識やノウハウを習得できる」水準に達していることおよび専門性が「数学を概ね理解し、それに関連する情報の理解と正確性の判断を経て自ら主張できる。ある程度の緻密さや正確さを伴った作業が行える」水準に達していることを確認するため、数学I、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cに関する筆記試験を行います。

Q. 国家試験への合格や民間資格はアピールできますか。

A. II-II.【学科別出願資格】(2)に記載があるように、コミュニケーション力が「相手の意見をひととおり理解し、相手に自身の意見をひととおり伝えられる」水準に達していること、組織的行動能力が「指示されると作業できる。目標を達成するため自ら動ければ、なお良い」水準に達していること、自己実現力が「自ら明確な目標を定め、その実現のために道筋を考え努力する。その際、自己管理を怠らない」水準に達していること、および多様性創発力が「多様性(文化・習慣・価値観等)を意識し、理解しようとしている」水準に達していることのエビデンスとなり得る何らか

のアクティブ・ラーニングの実績であれば、自ら工夫しつつアピールして構いません。

【人間総合理工学科】

Q. 出願書類を書くとき、注意すべきことを教えてください。

A. これは高大接続型自己推薦入試の要となるものですから、出願書類に関する説明をよく読んで、あなたがなぜ人間総合理工学科に入学を希望しているのか、あなた自身のどんな能力や経験が本学科における学びに役立つのか、本学科で学んだことを将来どのように活かしたいと思っているのか等について、分かりやすく表現してください。本文の他に、写真やスケッチ等も使用できるので、上手に活用して、読む人(教員)にあなたの魅力・能力をアピールしてください。一般的な人物紹介ではなく、あなたと人間総合理工学科の結びつきを伝えるように心がけましょう。また、自己推薦書は、あなたが自分自身の考えを分かりやすくまとめ、主張と根拠を明確にして論理的に表現する能力を備えているかどうかを見るためのものでもあります。ですので、内容と文章の構成力の双方が評価の対象となることを念頭に置いて、準備してください。

Q. 2次選考のプレゼンテーションと質疑応答は、どのように行われるのですか。

A. まずプレゼンテーションとして、受験者に教員の前で自己アピール書類の内容を説明してもらいます。任意提出書類の事柄を含めてもかまいません。黒板や予め用意したポスター、パソコン等を必要に応じて活用し、自己アピールをしてください。発表の後、発表内容や提出書類に関する質疑応答を行います。基礎的な学力を問う質問等がある可能性もありますが、特に事前に準備をする必要はありません。なお、パソコンを用いて発表する場合には、基本的には受験者自身にノートパソコンの持参をお願いしています。

Q. プレゼンテーションでは、どのようなことが重視されるのですか。

A. 自分の考えや主張を、分かりやすく論理的に相手に伝える力は、人間総合理工学科で学び研究を行ううえでも、将来社会に出て活躍していくうえでも、非常に重要な能力です。そこでプレゼンテーションでは質疑応答も含めて、自分自身の考えを相手に的確に理解してもらうための「伝える力」、人の意見・主張を正しく理解する「聞く力」、短時間で考えをまとめる臨機応変な「判断力」等を重点的に見ていきます。言葉で伝えるのが難しい事柄は図表や動画を活用する等、工夫を凝らして、分かりやすい発表を目指してください。プレゼンテーションは、単なる自己紹介ではありません。あなたの研究興味や学習意欲、将来の展望等熱意を持ってアピールしてください。

Q. 「人間総合理工学科」という名称には、文系的な素養があるような印象を受けます。理数系科目が苦手なのですが、この学科で勉強していくことができますか。

A. 人間総合理工学科は非常に幅広い理工学の分野であるため、必ずしも理科や数学全般を深く理解しておかなくとも研究ができる分野も存在します。しかし、人間総合理工学科は、物事を科学的な視点から見ていく学問分野であるため、対象となる現象を理数的見地から考え捉えていく能力が求められます。この能力を鍛えることは、将来、大変役に立ちます。理数系科目に苦手意識をもってしまうことは、大学での研究生生活をよりよいものにしていくための機会を逸することになるため、苦手意識を前面に押し出さずに、前向きに学習に取り組んでいくようにしましょう。

Q. 人間総合理工学科には多様な研究分野がありますが、受験時または入学後すぐに一つを選ばなくてはならないのですか。

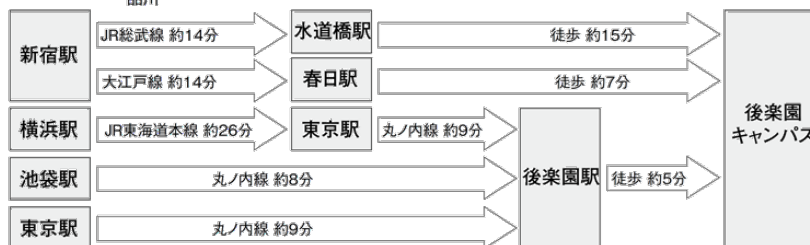
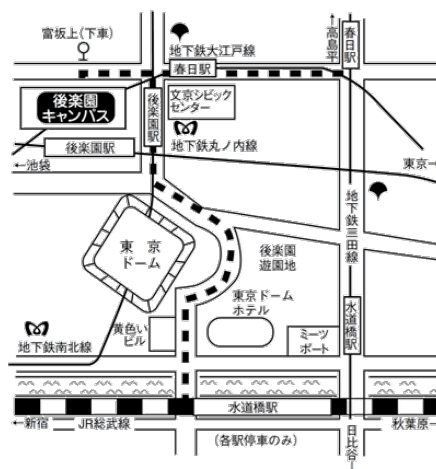
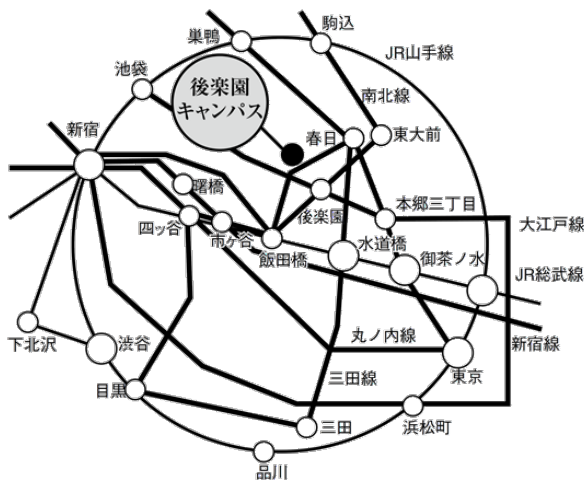
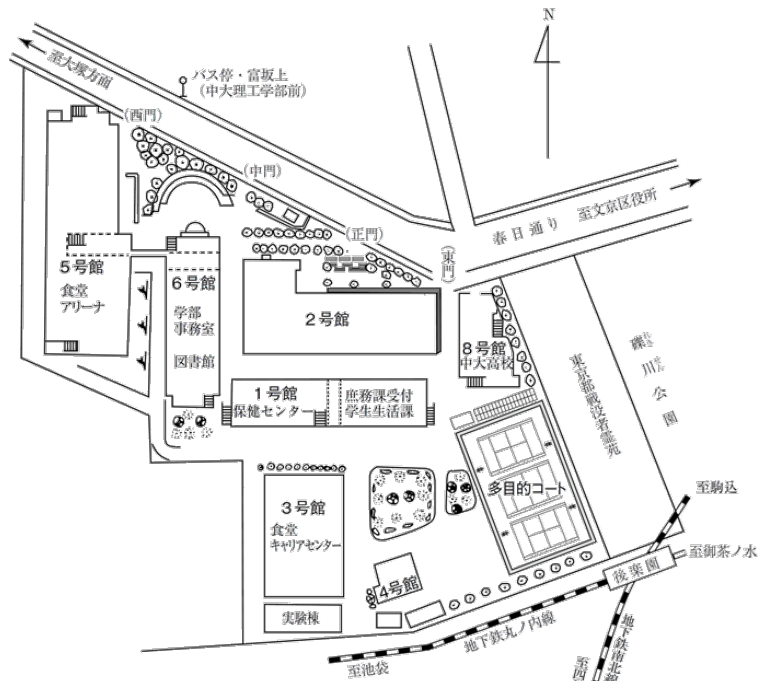
A. その必要はありません。1年次前期には、各教員がオムニバス形式でそれぞれの領域を紹介する「フレッシュマンセミナー」が開講され、学生の皆さんが自分のテーマを見つけ、それを研究していくために何を学んでいく必要があるのか、自ら考えていくことをサポートします。また1・2年次の講義は各研究分野の入門にあたるものが中心で、幅広い知識を身に付けながら、自分の専門を見極めていくことができます。既に興味があらかじめはっきりしている人であっても、様々な領域の基礎を学ぶことで、より広い視点から独創性のある研究テーマを見つけることができるでしょう。複数の研究室にまたがるテーマを選ぶことも可能です。但し、主として所属する研究室は選択することになります。

アクセス

【後樂園キャンパス】

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/kourakuen/>



※キャンパス内へは車で入構できません。
試験当日は周辺道路の混雑が予想されるため、自家用車の利用はご遠慮ください。

問合せ先一覧

問合せの内容により、連絡先が異なります。以下を確認のうえ、必ず志願者本人がお問い合わせください。

問合せ内容	問合せ先	電話番号
Web 出願システム操作方法・ 入学検定料支払いについて	Web 出願ヘルプデスク	03-5952-3902
	期間：出願期間に準ずる 時間：10:00～18:00	
UCARO について	UCARO 事務局	03-5952-2114
	時間：10:00～18:00(年末年始 12月30日～1月3日を除く)	

問合せ内容	問合せ先	電話番号
出願について	入学センター事務局 入試課	042-674-2121
当日の入学試験について	理工学部事務室	03-3817-1715
合格後の入学手続について	入学センター事務局 入学企画課	<FAQ・お問合せフォーム> https://chuo-enrollmentmanagement.zendesk.com/hc/ja
奨学金について	都心学生生活課	03-3817-1716
受験時の宿泊施設について	生活協同組合 旅行センター	042-674-3048
住まいについて	生活協同組合 理工店	03-3814-5928

※受付時間は本学 Web サイトで確認してください。

※夏季休業期間(8月9日～8月18日)および土日・祝日は受付を行いません。

〈Web サイト一覧〉

中央大学受験生ナビ Connect Web	https://www.chuo-u.ac.jp/connect/
UCARO	https://www.ucaro.net/
中央大学 Web 出願サイト	https://prod.shutsugan.ucaro.jp/chuo-u-tokubetsu/